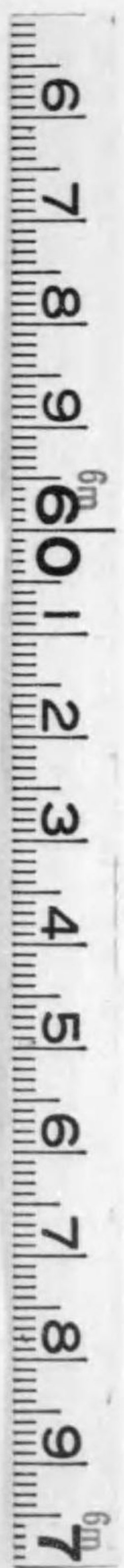


327  
789

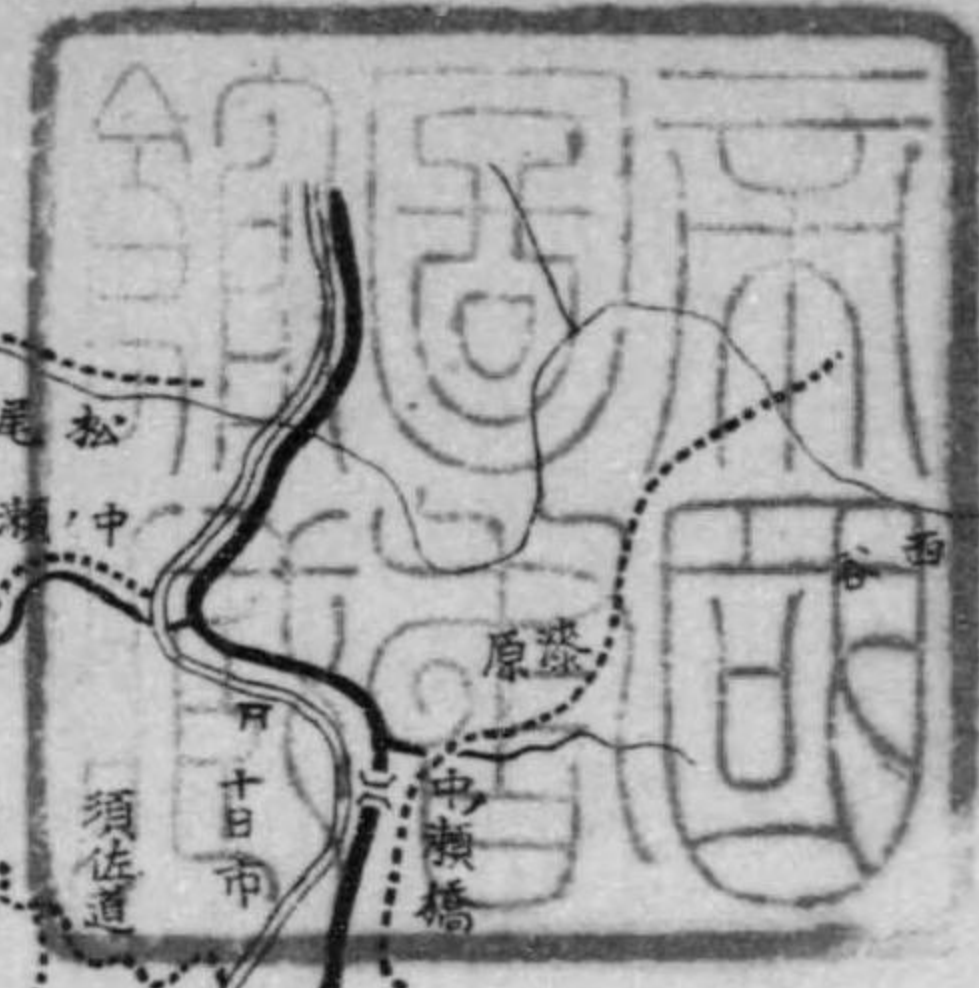
島根縣飯石郡掛合村是



始



島根縣飯石郡掛合村是



中野村

松笠村

# 掛合村圖

吉田村

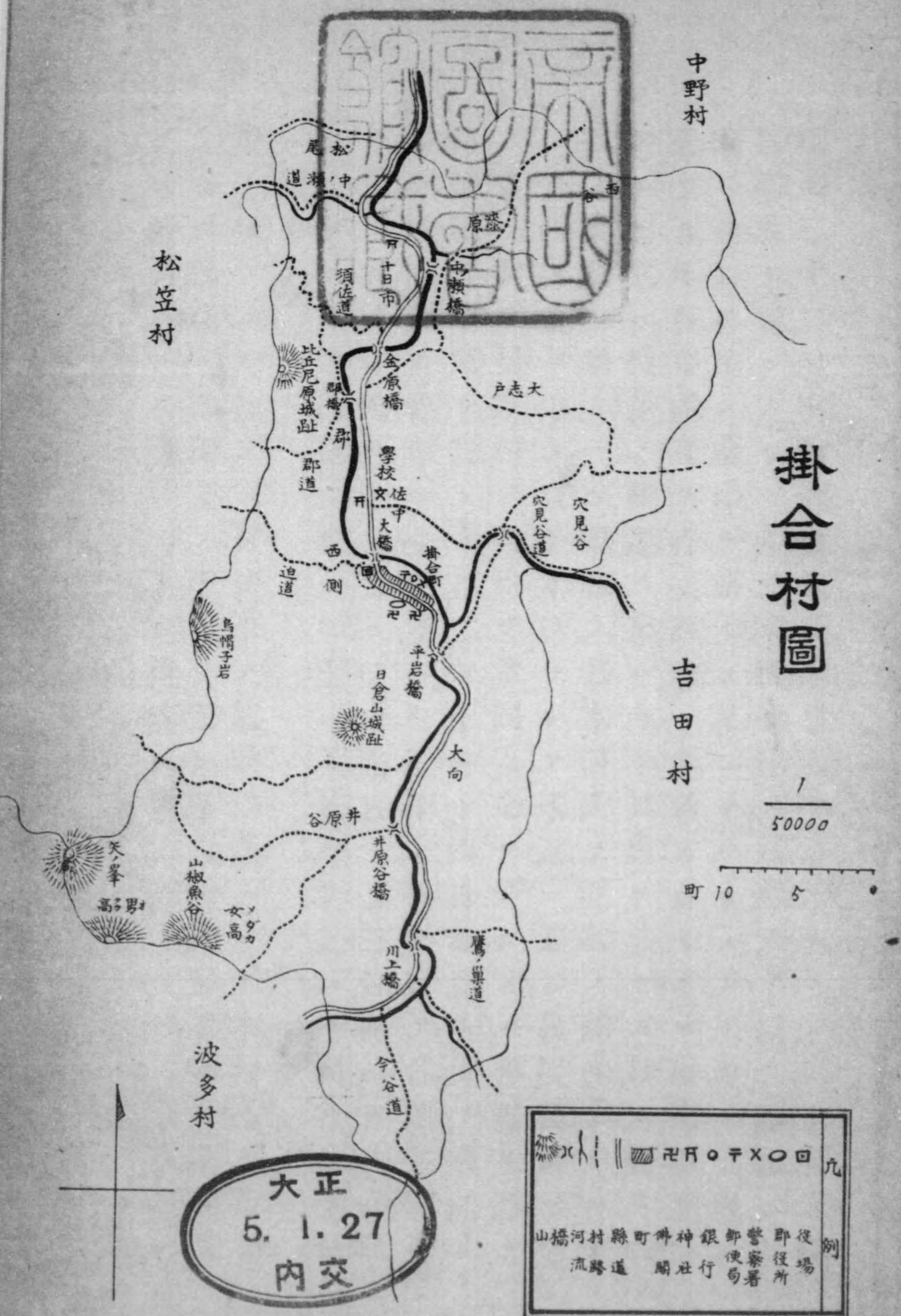
1  
50000

町 10 5

波多村

大正  
5. 1. 27  
内交

									九
川	道	橋	井	神社	学校	郵便	警察	官署	例





緒言

明治二十二年町村制實施以來星霜ヲ重ヌルコト二十有五年  
 其間敢テ短シトセザルモ本村發達ノ狀態未ダ以テ國家ノ要  
 求ニ應ジ村民ノ福祉ヲ圖ルニ足ラザルモアリ曩キニ明治  
 三十五年農事調査ヲ行ヒ村政ノ參考ニ資セシモ爾來年ヲ閱  
 スルト共ニ幾多ノ變遷ヲ來シ今ヤ其用ヲナサズ茲ニ於テ已  
 往ノ實蹟ニ鑑ミ一面現在ノ基本財産ヲ永遠ニ進歩發展民力増進  
 ノ針路計畫ヲ定メ以テ本村ヲシテ永遠ニ進歩發展民力増進  
 ノ策ヲ樹テ益本村ノ自治ヲ鞏固安全ナラシムル必要ヲ認メ  
 村是調査規定ヲ設ケ大正二年十月十四日調査委員ヲ囑託シ  
 各分擔調査ニ從事シ全三年三月三十一日以テ各部共調査  
 ヲ終了シ同年四月十二日ヨリ十四日マデ三日間村會ニ諮問  
 シ全會ニ於テ決定ヲ見ルニ至レリ依ツテ之ヲ刊行シテ扁  
 ク頒布ス  
 以上陳ブルガ如ク本村將來ノ施設經營ハ一ニ本村是ヲ基礎  
 トス村民諸子本調査ノ趣旨ヲ領シ協同一致奮勵努力以テ空  
 文ニ終ラシメザラシコトヲ切望ス

文 大正三年五月一日

編輯者

本村は、大正三年五月一日、...

村是ニ定ムル諸般ノ施設タルヤ固ヨリ時運ノ進歩ニ伴ヒテ  
自治ノ振興改善ト殖産興業ノ發達ヲ企圖スルモノナレバ氣  
候人情風土等ヨリ人文ノ程度民力ノ強弱生産消費ノ關係ニ  
至ルマデ仔細ニ之レヲ精査シ專ラ穩健着實ヲ主トシ眞面目  
ニ固有ノ事物事業ノ改善發達ヲ獎メ尙ホ事實ノ適否改廢ノ  
要否風俗習慣等ヲ探究シテ古來ノ美風ヲ保全スルト同時ニ  
裏面ノ弊習ヲ矯正スルノ策ヲ講シタリ即チ普通教育ヲ促進  
シ實業教育ノ普及ヲ圖リ又一意專心村基本財産ヲ造成シテ  
財源ノ基礎ヲシテ泰山ノ安キニ置キ殊ニ産業ニアリテハ耕  
地整理田區改正土地開墾地目變換暗渠排水米麥其他穀類果  
樹類蔬菜類特用作物ノ改良ニ毛作畜産蠶業ノ獎勵及殖林事  
業等惣テ生産增收ノ方法ヲ講シ一般經濟界ノ劇變ニ際會ス  
ルモ消極的節約ノ痛苦ヲ免レ甚ダシキ産業ノ衰頹ヲ招クコ  
トヲ防止シ其外風教上ニアリテハ風俗ノ改善共同心ノ振作  
公德心ノ涵養ニ務メ以テ醇厚ノ風俗ニ導クベシ微塵モ積テ  
山トナリ滴水モ以テ淵トナル如クニシテ各自ノ獨立  
ヲ得ベク各自ノ獨立ヲ得テ而シテ本村ノ獨立ヲ得ベシ茲ニ

至リテ則チ村是ノ目的ヲ達シ得ン本調査ノ針路ニ基キ至誠  
事ニ當リ自ラ疆メテ息マザレバ民力ハ以テ充實シ大ニ國運  
ノ發展ニ資スルヲ得ン豈奮進セザルベケンヤ

大正三年五月一日

掛合村長 若 直 寛

至リテ則チ村是ノ目的ヲ達シ得ン本調査ノ針路ニ基キ至誠  
事ニ當リ自ラ疆メテ息マザレバ民力ハ以テ充實シ大ニ國運  
ノ發展ニ資スルヲ得ン豈奮進セザルベケンヤ  
大正三年五月一日  
掛合村長 若 直 寛

掛合村是ナルト聞ク村是ハ確定セリトテ効果アルニ非ラス  
如何ニ實行項目ヲ多クスルモ之ヲ實行セザレバ寧ロ之レナ  
キノ繁累ヲ見ルヲナキニ如カザルベシ  
由來町村制實施サレテ正ニ二十有五年ナルニモ關ラズ町村  
治績ノ見ルベキ少ク町村發展ノ著シキナキハ多クハ其日暮  
ラシノ執務ト事勿レ主義ヲ喜ブ民心トニ歸セサルベカラズ  
今ヤ自治行政振張ノ要求ハ朝野ニ喧シク地方改良ノ鼓吹ハ  
天下ノ事業トナレリ此時ニ際シ掛合村ガ一村興隆ノ根本義  
ニ着眼シテ村是ヲ立テ之ガ實行ニ邁進セントスルハ以テ斯  
村ノ將來ヲトスルニ足ルト共ニ邦家ノ爲メ人意ヲ強フスル  
モノト謂フベシ矣  
吾輩ハ曩ニ其地ニ在リテ自治ヲ説キシ者ナレバ特ニ其舉ヲ  
欣喜シテ止ム能ハザルナリ希クハ之ヲ實行シテ自治行政ノ  
進歩ト民力ノ充實ト民育ノ發達トガ齎ラス功德ノ益斯村ニ  
多カラシム日ノ近キ將來ニ於テ實現センコトヲ万禱シテ敢テ序  
トナス云爾

大正三年五月十日

我農生 山崎延吉



ト思考致候若槻村長ヨリノ御依頼ニヨリ一言所思ヲ申上ゲ  
御祝意ヲ表候 敬具

大正三年五月二十日

島根縣農會ニテ  
千石興太氏郎

（Faint, mostly illegible text, likely bleed-through from the reverse side of the page.)

○掛合村是調査規程

第一條 本村將來ノ村是ヲ確立セシメカタメ左記事項ヲ調査スルモノトス

(大正二年十月一日決定)

- 一、村行政
  - 二、産業
  - 三、土木
  - 四、教育
  - 五、衛生
  - 六、公園、勝區
  - 七、警備
  - 八、奨励
  - 九、救恤
  - 十、社寺
  - 十一、其他必要ナル事項
- 第二條 前項ノ調査ヲ爲シ之ニ依テ村是ヲ設定セシメカタメ調査委員若干名ヲ置クモノトス
- 調査委員ハ村長ニ於テ之ヲ囑託ス
- 第三條 委員ハ左ノ三部ニ分チ各部ニ部長ヲ置キ分擔調査ニ從事セシムルモノトス
- 委員ノ部屬ハ村長之ヲ指定シ部長ハ部員ノ互選トス
- 第一部  
村行政、公園、勝區、警備、救助、其他他部ニ屬セサル事項
- 第二部



産業、土木、奨儉

第三部

教育、衛生、社寺

第四條 各部ニ於ケル調査ハ大正三年三月三十一日迄ニ之ヲ終了セシメ更ニ委員ノ惣會ニ附シテ之ヲ審査

シ四月十四日限リ調査完了セシムルモノトス

第五條 委員ノ任期ハ別ニ之ヲ定メサルモ調査終了ヲ以テ滿了ト做ス

村是調査委員

一本調査ハ規程ニ依リ八名ノ調査委員ヲ選定シ其部長及部屬ヲ左ノ通り指定シ而シテ村長ハ部長及委員長トナリテ整理ノ任ニ當レリ

委員長 村 長 若 規 直 寬

第一部 村行政、公園、勝區、警備、救助、其他々事ニ屬セサル事項

部長 村 長 若 規 直 寬

委員 助役 原 團四郎 書記 帶 力 芳 衛 (兼)村農會技手 板 垣 米 太 郎

第二部 産業、土木、奨儉

部長 村農會長 白 築 幸 幹

委員 村農會技手 板 垣 米 太 郎 (兼)助役 原 團四郎 區長 大 島 常 造

第三部 教育、衛生、社寺

部長 尋常小學校長 小 汀 龍 藏

委員 全訓導 桐原 作右衛門 全訓導 若 規 正 義 (兼)役場書記 帶 力 芳 衛

### 島根縣飯石郡掛合村是目次

#### 第一章 村行政

##### 第一節 村吏員

村吏員ノ職制及定數	一頁
村公務員ノ待遇	一頁
功勞者表彰	二頁
勤續者加俸	二頁
退職者其他ノ者待遇	三頁
吏員ノ慰勞	四頁
使丁待遇	四頁
第二節 公有財産	
基本財産増殖(蓄積方法種類限度)	四頁
蓄積方法種類	五頁
現金其他收入金利倍増殖方法及限度	五頁
基本財産増殖(不動産利用方法)	一〇頁
公有林施業(既設)	一一頁
牧場内造林(既設)	一二頁
牧場トシテ施業	一二頁

二

島根縣部分林施業	一二頁
島根縣農會部分林施業	一三頁
土地貸貸	一三頁
基本財産蓄積條例	一四頁
學校基本財産増殖(蓄積方法種類限度)	一四頁
基金新設	一五頁
蓄積方法	一五頁
寄附金	一五頁
現金其他收入金利倍増殖方法	一六頁
學校基本財産増殖(不動産利用方法)	一九頁
小學校基本財産蓄積規程	二〇頁
罹災救助資金増殖(蓄積方法種類限度)	二〇頁
基本財産罹災救助資金蓄積條例	二一頁
貧民救助基金	二二頁
軍人家族救護基金	二二頁
公共用建物	二二頁
第三節 村 税	
將來村費概算	二三頁
財源	二三頁

三

將來村一戸當負擔ノ豫定	二四頁
第二章 産 業	
第一節 農業獎勵	
耕地整理施行豫定	二四頁
田區改正	二五頁
土地開墾	二五頁
土地變換	二五頁
暗渠排水	二六頁
穀類ノ改良	二六頁
米作改良	二六頁
麥作改良	二七頁
豆類改良	二七頁
果樹ノ増殖	二七頁
蔬菜ノ改良	二八頁
特用作物ノ改良	二九頁
桑、麻	二九頁
三椏	三〇頁
二毛作ノ獎勵	三〇頁
紫雲英ノ利益	三一頁

麥作ノ利益.....三一頁

苜蓿作ノ利益.....三一頁

宅地ノ利用.....三一頁

    第二節 畜産獎勵

    牛ノ改良.....三一頁

    馬ノ改良.....三二頁

    養鶏.....三三頁

    家畜市場.....三三頁

    牧場.....三五頁

    第三節 蠶業獎勵

    春蠶.....三六頁

    夏秋蠶.....三六頁

    蠶種共同購入稚蠶飼育獎勵.....三六頁

    桑園新設.....三六頁

    既設桑園.....三七頁

    生糸.....三七頁

    第四節 林業獎勵

    用材林及薪炭林栽植.....三七頁

杉造林.....三八頁

扁柏造林.....三八頁

松造林.....三八頁

栗造林.....三八頁

櫟造林.....三九頁

部分林設定.....三九頁

    島根縣部分林.....三九頁

    島根縣農會部分林.....四〇頁

    木炭事業改良.....四一頁

    桐ノ獎勵.....四二頁

    第五節 工業獎勵

    諸工業.....四二頁

    第六節 水産獎勵

    養魚.....四三頁

    第三章 土木

    第一節 交通

    道路修繕.....四四頁

    橋渠修繕.....四四頁

道路改修橋梁架設.....四五頁

吉出道.....四五頁

中野道.....四六頁

中ノ瀬及郡橋.....四六頁

第二節 水利.....四三頁

堪埭改造.....四六頁

灌溉用溜池新設.....四六頁

消防用池新設.....四七頁

水道.....四七頁

第四章 教育.....四二頁

第一節 普通教育.....四一頁

校舍校地校具ノ設備.....四八頁

校舍.....四八頁

校地.....五〇頁

校具.....五一頁

就學出席ノ獎勵.....五二頁

就學.....五二頁

出席.....五二頁

教員ノ俸給.....五二頁

教員ノ待遇.....五二頁

學校衛生.....五二頁

水口改造.....五二頁

衛生的設備.....五三頁

トラホーム治療.....五三頁

貧困兒童施療.....五三頁

森林運動場設備.....五三頁

加設科目.....五三頁

第二節 實業教育.....五三頁

實業補習學校.....五三頁

第三節 庶民教育.....五四頁

圖書館.....五四頁

簡易講習.....五四頁

公開講演.....五四頁

報德會.....五四頁

掛合村報德會々則.....五四頁

全戸主部會々則.....五五頁

全青年部會々則.....五六頁

全婦人部會々則.....五八頁

第五章 衛生.....五九頁

傳染病隔離病舎.....五九頁

火葬場ノ設置.....五九頁

村醫.....六〇頁

産婆看護婦.....六〇頁

血清及豫防液.....六〇頁

衛生組合.....六〇頁

共同團圓場.....六〇頁

共同塵捨場.....六〇頁

共同墓地.....六〇頁

第六章 公園勝區遺跡.....六〇頁

公園逍遙園運動園.....六一頁

勝區.....六一頁

遺跡.....六一頁

第七章 警備.....六一頁

火防.....六一頁

水防.....六一頁

第八章 奨励.....六二頁

村民經濟改良必成ノ方法.....六二頁

銀行.....六二頁

産業組合.....六二頁

信用組合.....六二頁

購買組合.....六三頁

製紙原料販賣組合.....六三頁

蠶業組合.....六三頁

勤儉貯蓄.....六三頁

普通貯金.....六三頁

規約貯金.....六三頁

共同貯金.....六三頁

据置貯金.....六三頁

個人ノ收支豫算決算.....六三頁

第九章 救助.....六四頁

貧民救助.....六四頁

罹災者救助.....六四頁

第十章 社寺.....六四頁

神社.....六四頁

寺院.....六四頁

第十一章 雜件.....六四頁

村公務員心得……………六五頁

掛合村徽章……………六五頁

村民及團休ノ待遇……………六六頁

功勞者篤行者ノ表彰……………六六頁

高齡者ノ待遇……………六六頁

初子出産年賀等ノ慶事ニ賀狀贈與……………六六頁

有位帶動者ノ待遇……………六六頁

死亡セシ偉人賢人……………六七頁

小作人ノ保護……………六七頁

村歴史地理編纂……………六七頁

飛地交換……………六七頁

村民慰安……………六七頁

弊風矯正……………六七頁

宴席交盃廢止……………六七頁

掛合村矯風事項……………六八頁

基本財産増殖年度別豫定一覽表……………七〇頁

基本財産収入金將來豫定一覽表……………七四頁

村費中經常費収入金將來増加豫定一覽表……………七九頁

村費及農會費中支出金將來増加豫定一覽表……………七九頁

個人經濟收入金將來増加豫定一覽表……………七九頁

### 島根縣飯石郡掛合村是

#### 第一章 村 行 政

##### 第一節 村 吏 員

###### 一、村吏員ノ職制及定數

職名	現 在	將 來	摘 要
村 長	一	一	
助 役	一	一	
收 入 役	一	一	
副 收 入 役	一	一	
代收 理 人	一	一	書記兼務トス
書 記	三	四	近キ將來專任書記一人増員ノ必要ヲ認ム 一人ハ他ノ吏員ヨリ兼務トス
技 手	一	一	近キ將來農業技手ノ必要アルモノト認ム
附 屬 員	一	一	
見 習 吏 員	一	若干	本員ハ吏員養成上必要ニ付募集セントス



區長	六	六
區長代理者	六	六
委員	八	八
使丁	一	二

備考 將來増員ヲ要スルモノハ其必要ノ時ニ當リ村會ノ同意ヲ得テ任用ス

學務委員二名(一人教員) 勸業委員六名  
近キ將來ニ於テ内勤外勤ノ二人ヲ要スル見込ナリ

二、村公務員ノ待遇

1、功勞者表彰

イ、左ノ各號ノ一ニ該當スルモノヲ表彰スルモノトス  
 村會議員勤續十二年以上ニシテ功勞アルモノ  
 村吏員勤續十年以上ニシテ成績最良ナルモノ  
 特種ノ功勞アルモノ

ロ、前項功勞者ハ村長之レヲ調査シ村長ノ調査ハ助役之レヲ爲シ村會ノ同意ヲ得テ功勞狀ヲ附與表彰スルモノトス但功勞狀ニハ場合ニ依リ金品ヲ添付スルコトアルヘシ

ハ、表彰者ハ村又ハ學校ノ儀式ニ於テ優遇シ且其吉凶ニ際シ村長慶吊スルモノトス

2、勤續者加俸

一、有給吏員ニシテ四ケ年以上勤續スルモノニ左記規程ニ依リ年功加俸ヲ給ス

掛合村吏員年功加俸給與條例

第一條 本村有給吏員ニシテ四個年以上勤續スルモノニ年功加俸ヲ給ス

第二條 年功加俸ハ四個年勤續シタルモノニ本俸ノ百分ノ十ヲ給シ後四個年ヲ加フル毎ニ更ニ百分ノ十ヲ加ヘ百分ノ三十二至リテ之ヲ止ム

第三條 有給吏員ノ勤續年數ハ相互通算ス  
 但中途名譽職吏員ニ轉シタル後再有給吏員トナリタルモノ

第四條 年功加俸ハ定規ノ勤續年數ニ達シタル其翌月ヨリ之ヲ給ス

第五條 増減俸ニヨリ俸給ニ異動ヲ生シタル場合ハ現ニ受領スル俸給額ニ對シ之ヲ給ス

第六條 年功加俸ハ毎月本俸ト同時ニ之ヲ支給ス

第七條 本條例ハ大正貳年四月ヨリ起算ス

3、退職者其他ノ者待遇

村吏員退職者ノ待遇方法未ダ設ケナキニ依リ大正三年度ヨリ同四年マデノ内ニ村會ノ同意ヲ得テ左ノ方法ニ基キ規程ヲ設クルモノトス

イ、在職滿十五年以上ニ至リ退職シタルモノニハ終身退隱料ヲ給ス

退隱料ノ年額ハ退職當時ノ給料ト在職年數トニヨリ左ノ通り定ムルモノトス

但退職ノ後再ビ就職シタルモノハ前在職ノ年數モ通算ス

イ) 在職滿十五年以上二十五年未滿ノトキ給料月額三ヶ月分

ロ) 在職滿二十五年以上三十五年未滿ノトキ全上三ヶ月分

ハ) 在職滿三十五年以上ノトキ全上五ヶ月分

ロ、在職滿一年以上十五年未滿ニシテ退職シタルモノニハ一時金ヲ給與ス

一時金ハ退職當時ノ給料月額二分ノ一ニ在職年數ヲ乘シタル額トス

但在職中特殊ノ功勞アルモノハ村會ノ同意ヲ得テ増額スルコトヲ得

ハ、十五年以上ノモノ退職スル時ニ於テ本人ノ希望ニヨリ終身退隱料ヲ一時金ニ變更スルコトヲ得

但其支給方ハ一時金支給法ニヨル

ニ、在職滿一年以上ノ者ニシテ在職中死亡シタルハ其遺族ニ左ノ一時扶助料ヲ給ス

イ、在職五年未滿給料月額二ヶ月分

ロ、在職十年未滿全 上四ヶ月分

ハ、在職十五年未滿全 上六ヶ月分

ニ、在職十五年以上全 上八ヶ月分

4、吏員ノ慰勞

村公務員慰勞ハ毎年末月俸額十分ノ二以内勤惰ノ狀況ニヨリ之ヲ給與ス

但特別ノ事情アルハ増額スルコトヲ得

5、使丁待遇

役場學校使丁ニシテ其任務ニ忠實ニ勉強スルモノニハ毎年末月俸（日給ハ一ヶ月ニ換算）額十分ノ

二以内勤惰ノ狀況ニヨリ之ヲ給與ス

十年以上勤績者ヲ解雇スルトキハ更ニ解雇慰勞金ヲ給ス

第二節 公有財産

一、基本財産増殖 蓄積（方法、種類限度）

本村基本財産蓄積條例ニ基キ大正三年度ヨリ大正四十一年度マテ三十九年間利倍増殖（年利五分以下全ク）ヲ繼續實行スルハ仮定村費經常費（教育費ヲ除ク）六千五百圓ヲ財産ヨリ生スル收入金ヲ以テ全部支辨シ得ル見込ナルヲ以テ現計劃トシテハ其程度ヲ以テ目的ヲ定メ大正四十二年以後ハ更ニ村會ノ議決ヲ以テ本村適當ノ方法ヲ講スルモノトス

1、蓄積方法種類

現在公債額面壹万五百圓ヲ基礎トシテ利倍増殖シ尙條例ノ規程ニ基キ歳入金ノ内ヲ以テ左ノ通り八百五拾圓以上毎年度利倍増殖スルモノトス

イ、公債額面壹万五百圓ノ利子金四百六拾四圓	五分利公債四千四百圓	四分利公債六千四百圓
内	五分利公債四千四百圓	四分利公債六千四百圓
ロ、郵便貯金利息	金拾圓	
ハ、貸地料	金百拾六圓	
ニ、戸籍手数料	金八圓	
ホ、國庫交付金	金百貳拾圓	
ヘ、縣稅交付金	金七拾貳圓	
ト、歲計剩餘金	金六拾圓	

將來以上各種ノ歳入増加ヲハカリ毎年度豫定ノ積立額八百五拾圓以上利倍増殖ノ目的ヲ達シタルハハ村會ノ同意ヲ得テ條例ノ改正ヲ申請シ以上ノ殘額ハ毎年度經常部ノ支出ニ充用シテ村ノ發展策ヲ講スルモノトス

2、現金其他收入金利倍増殖方法及限度

大正三年度ヨリ同四十一年度マテ即チ三十九年間毎年度利倍増殖スルハ元利合計拾參万九百五拾壹圓七錢貳厘トナル而シテ之ガ收入豫定高金六千五百四拾七圓五拾五錢參厘トナル即チ十年毎ニ計算左ノ如シ

- 大正拾貳年 金貳万壹千六百參拾九圓貳拾六錢八厘
- 全二十二年 金四万七百五拾七圓五拾參錢九厘



全三十二年 金七万五千五百七拾參圓七拾壹錢八厘  
 全四十一年 金拾參万九百五拾壹圓〇七錢貳厘  
 以上述フルガ如ク大正四十一年度ニ至リテ積立額ヨリ生スル處ノ利子一ヶ年豫定額六千五百四拾七圓五拾五錢參厘ニシテ經常費(教育費ヲ除ク)六千五百圓ヲ引去リ四拾七圓五拾五錢參厘ノ殘額ヲ生スルニ至ルヲ以テ其時期マデ蓄積スルモノトス

參 照

大正四十二年以後大正六十二年即チ造林主伐期マテ増殖スルトキハ經常費全部ヲ利子ヨリ支辨シ殘額ヲ本村戸數五百戸(大正四十一年以後)ニ割當シテ見ルトキハ一戸平均額左ノ計算ニシテ餘裕ヲ得ルコトナル

イ、基本財産利子一覽表

年	經常費積立額	年利五分額	一戸平均
大正四十五年	三、八五〇、二七六	一、五九二、五〇八	三、一八五
五十年	一〇七、五七七、五二七	五、三七八、八七五	一〇、七五七
(五十ヶ年目)	一三八、〇四六、八八五	六、九〇二、三四四	一三、八〇五
五十二年	二〇二、五八六、一七八	一〇、二一九、三〇八	二〇、二五八
五十五年	三二七、二七五、八四三	一五、八六三、七九二	三二、二七七
六十年			

(造林主伐ノ年) 六十二年 三二七、〇三七、〇一五 一八、六〇一、八五〇 三二、二〇三

造林收入

島根縣部分林反別八十二町二反四畝歩ニ對シ明治四十年年度ヨリ大正五十年(主伐大正四十五年)期ト後ニ於ケル分收豫定高左表ノ如シ

造林分收豫定表

植付年	十五年目	二十五年目	三十五年目	主伐年	主伐代	合計
明治四十年	七〇三、四二一	四三三、七三二	一、一〇五、六八六	大正四十六年	四、二六六、六二二	五、八八四、八一
全四十年	全七〇三、四二一	全四三三、七三二	全一、一〇五、六八六	全四十六年	全四、二六六、六二二	全五、八八四、八一
全四十一年	全四九二、四二一	全三〇〇、八	全七五〇、〇	全四十七年	全二、九二二、三六	全四、二五八、八
全四十一年	全五五九、五	全三五三、六	全八八〇、七	全四十八年	全三、三九九、三四	全四、六八七、三三
全四十三年	全六六六、九	全四一九、三	全一、〇四九、六三	全四十九年	全四、〇五二、二二	全五、五八七、七七
全四十四年	全四六六、五	全三〇六、三	全七六六、二	全五十年	全二、九五五、四	全四、〇七五、九二
全四十四年	全四六六、五	全三〇六、三	全七六六、二	全五十年	全二、九五五、四	全四、〇七五、九二
計	二〇九、七七七	一、八三〇、八六	四、五七七、九		一七、六六、五八	二四、三六一、四〇

備考 本表ハ代價ノ豫定高ヲ掲ケタルモノナリ

ハ、島根縣農會部分林反別八十五町二反五畝歩ニ對シ明治四十一年度ヨリ大正五十四年(主伐大正四十七年)

リ八ヶ年后ヲ以テ末期トス)後ニ於ケル造林及三種ノ代價ノ分收豫定高左表ノ如シ  
造林分收豫定表

植付年	十五年目		二十五年目		三十五年目		主	伐	合
	年	代金	年	代金	年	代金			
明治四十二年	大正	三〇〇	大正	三〇〇	大正	三〇〇	大正	一、八〇〇	二、二五〇
四十二年	全	三〇〇	全	三〇〇	全	三〇〇	全	一、八〇〇	二、二五〇
四十三年	全	三〇〇	全	三〇〇	全	三〇〇	全	一、八〇〇	二、二五〇
四十四年	全	三〇〇	全	三〇〇	全	三〇〇	全	一、八〇〇	二、二五〇
大正元年	全	三〇〇	全	三〇〇	全	三〇〇	全	一、八〇〇	二、二五〇
二年	全	三〇〇	全	三〇〇	全	三〇〇	全	一、八〇〇	二、二五〇
三年	全	三〇〇	全	三〇〇	全	三〇〇	全	一、八〇〇	二、二五〇
四年	全	三〇〇	全	三〇〇	全	三〇〇	全	一、八〇〇	二、二五〇
合計		三、六〇〇		三、六〇〇		三、六〇〇		一、八、八〇〇	二四、五〇〇

備考 本表ハ代價ノ收入豫定高ヲ掲ケタルモノナリ

三種代分收豫定表

年	代金	年	代金	年	代金	年	代金	計
大正四年	三、六〇〇	大正五年	三、六〇〇	大正六年	三、六〇〇	大正七年	三、六〇〇	一、二、二二
大正八年	一、二二	計	一、二二					二、二二

備考 本表ハ代價ノ收入豫定高ヲ掲ケタルモノナリ

ニ、村經營ニ係ル字スデノ木谷及字ヲモ谷反別二十一町歩ニ對シ大正四年度ヨリ同五十三年度マデ五  
十ヶ年後ニ於ケル收入豫定高左表ノ如シ

造林收入豫定表(字スデノ木谷山林)

植付年	十五年目		二十五年目		三十五年目		主	伐	合
年	代金	年	代金	年	代金				
大正四年	大正	二、八〇〇	大正	二、八〇〇	大正	二、八〇〇	大正	四、〇〇〇	四、八八八
五年	全	二、八〇〇	全	二、八〇〇	全	二、八〇〇	全	四、〇〇〇	四、八八八
六年	全	二、八〇〇	全	二、八〇〇	全	二、八〇〇	全	四、〇〇〇	四、八八八
七年	全	二、八〇〇	全	二、八〇〇	全	二、八〇〇	全	四、〇〇〇	四、八八八
八年	全	二、八〇〇	全	二、八〇〇	全	二、八〇〇	全	四、〇〇〇	四、八八八
九年	全	二、八〇〇	全	二、八〇〇	全	二、八〇〇	全	四、〇〇〇	四、八八八
十年	全	二、八〇〇	全	二、八〇〇	全	二、八〇〇	全	四、〇〇〇	四、八八八
十一年	全	二、八〇〇	全	二、八〇〇	全	二、八〇〇	全	四、〇〇〇	四、八八八
十二年	全	二、八〇〇	全	二、八〇〇	全	二、八〇〇	全	四、〇〇〇	四、八八八
十三年	全	二、八〇〇	全	二、八〇〇	全	二、八〇〇	全	四、〇〇〇	四、八八八
十四年	全	二、八〇〇	全	二、八〇〇	全	二、八〇〇	全	四、〇〇〇	四、八八八
合計		三、六〇〇		三、六〇〇		三、六〇〇		一、八、八〇〇	二四、五〇〇

全		一		二		三	
全	年	全	年	全	年	全	年
十一	全	十	全	九	全	八	全
十二年	全	十一年	全	十年	全	九年	全
二十六年	全	二十五年	全	二十四年	全	二十三年	全
二十七年	全	二十六年	全	二十五年	全	二十四年	全
八	全	八	全	八	全	八	全
三十七年	全	三十六年	全	三十五年	全	三十四年	全
一八〇	全	一八〇	全	一八〇	全	一八〇	全
四十七年	全	四十六年	全	四十五年	全	四十四年	全
七〇〇	全	七〇〇	全	七〇〇	全	七〇〇	全
六十二年	全	六十一年	全	六十年	全	五十九年	全
四、〇〇〇	全	四、〇〇〇	全	四、〇〇〇	全	四、〇〇〇	全
四、八八八	全	四、八八八	全	四、八八八	全	四、八八八	全

全上(字ヲモ谷山林)

備考 本表ハ代價ノ收入豫定高ヲ掲ケタルモノナリ

植付年	十五年度目	二十五年目	三十五年度目	主	伐	合	計
大正二年	大正	大正	大正	五十二	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
十六年	十六年	十六年	十六年	五十二年	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
全三年	全	全	全	五十二	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
十七年	十七年	十七年	十七年	五十二年	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇

備考 本表中間伐代金ノナキハ間植三椏作トシテ貸地ニ付杉ハ植付樹數少ナルヲ以テ間伐ノ必要ナシ故ニ主伐マテ營林保護ヲ以テ植付樹數ヲ持續スルノミナリ

二、基本財産増殖 (不動産利用方法)  
 現在村有林反別二百九十二町六反一畝十參歩  
 公有林施業方法既定ノモノ二十九町六反一畝二十歩  
 島根縣部分林八十二町二反四畝歩 内 六町歩 三椏山 地上權ヲ有スルモノ  
 四町歩 柴草山

島根縣農會部分林八十五町二反五畝歩  
 牧場五十九町二反五畝歩内一町歩杉造林既設ノモノアリ  
 三椏山十三町五反八畝二十八歩  
 柴草山十一町八反十二歩 内 六町四反一畝二歩三椏山  
 學林十町二反九畝十一歩  
 既設經營ノモノアリ

說明

1、公有林施業(既定)二十九町六反一畝二十歩

イ、造林反別二十町歩 樹種杉人工造林

字スデノ木谷反別二十六町七反一畝二十歩ノ内造林反別二十町歩

大正四年度ヨリ同十三年度マデ十ケ年間毎年度左ノ方法ニヨリ施業シ樹令五十年 (大正五十三年ヨリ全六十三

ケ年間)ニ至リ主伐ス

造林費左ノ如シ

大正四年度	金八拾圓	大正五年度	金百圓	大正六年度	金百貳拾圓
大正七年度	金百四拾圓	大正八年度	金百六拾圓	大正九年度	金百六拾圓
大正十年度	金百六拾圓	大正十一年度	金百六拾圓	大正十二年度	金百六拾圓
大正十三年度	金百六拾圓	大正十四年度	金七拾五圓	大正十五年度	金六拾圓
大正十六年度	金四十五圓	大正十七年度	金參拾圓	大正十八年度	金拾五圓

ロ、造林反別一町歩 樹種杉人工造林  
 字ヲモ谷一ヶ所三椏間作トシテ個人貸與造林大正三年度ヨリ同四年度マデ二ケ年間毎年度左ノ方

法ニヨリ施業シ樹齡五十年(大正五十二年)ニ至リテ主伐ス造林費左ノ如シ

大正二年度 金四圓

全 三年度 金四圓

備考 本費ノ少額ナルハ三極間作者ニ於テ地拵費及手入費ヲ支辨スルヲ以テナリ

ハ、全反別八町六反一畝二十歩 樹種天然雜木

字尿リ瀧二町九反歩字スデノ木谷ノ内反別六町七反一畝二十歩天然更新雜木山樹齡三十年毎ニ至リ皆伐ス

2、牧場内造林(既設)一町歩

内

造林反別一町歩 樹種杉人口造林

字中瀧既設造林明治三十四年三本植付同年度ヨリ大正三十九年度マデハ十ヶ年毎ニ間伐シ大正四十年ニ至リ主伐ス

3、牧場トシテ施業反別五十九町二反五畝歩

牧場ハ毎年度春秋兩期間内住民ニ牛馬ノ放牧ヲ許シ每期使用料トシテ一頭ニ付金五拾錢以上貳圓以内ノ範圍ニ於テ毎年度收支豫算ニ計上村會ノ同意ヲ得テ之ヲ定ム

4、島根縣部分林施業 反別八十二町二反四畝歩

部分林ハ明治四十年度ヨリ全四十四年度マデ五ヶ年間繼續シテ植付明治四十年十月一日ヨリ大正四十五年迄向五十ヶ年トシ尙ホ地上權者ニ於テ必要アルトキハ本契約ヲ繼續維持スルコトヲ得ルモノトス

部分林土地ヨリ生スル收益分收方法左ノ如シ

地上權者 百分ノ八十

土地所有者 百分ノ二十

5、島根縣農會部分林施業 反別八十五町二反五畝歩

部分林ハ明治四十一年四月一日ヨリ大正五十四年マテ向フ五十八ヶ年トシ尙地上權者ニ於テ必要アルトキハ繼續維持スルコトヲ得ルモノトス

作業期間ハ明治四十一年度ヨリ大正四年度迄八ヶ年間ノ契約トス

部分林土地ヨリ生スル收益ノ分收方法ハ左ノ如シ

地上權者 百分ノ八十

土地所有者 百分ノ二十

6、土地賃貸

イ、反別二十五町八反二十八歩 三極施行方法ノモノ

三極山ハ個人ニ地上ヲ二十ヶ年以内貸與シ反別一町歩ニ對シ玄米二斗ツ、毎年度年末相場ニ換算徴收ス

内

反別六町歩 島根縣部分林ノ内地上權ヲ占有シテ植付アルモノ

反別六町四反一畝二十歩 柴草山中既設植付中ノモノ

反別十三町五反八畝二十八歩 全部植付ニ係ルモノ

反別九町三反九畝十歩 柴草施業方法ノモノ

柴草山ハ個人ニ地上ヲ二十ヶ年以内貸與シテ反別一町歩ニ對シ玄米一斗宛毎年末米相場ニ換算徴

收ス

内

反別四町歩 島根縣部分林ノ内地土權ヲ占有スルモノ  
反別五町三反九畝十歩 全部貸與ニ係ルモノ  
外ニ反別六町四反一畝二歩 三極山トシテ整理ノモノ

注意

内譯總反別ト説明事項ノ總反別ト合ハザルハ例ヘバ島根縣部分林ニシテ貸貸ノ項ニ重複セルガ如キモノアルニ由ル然シテソノ重複セル理由ハ部分林契約ノ際ニ於テ既設ノ貸貸ニ係ルモノアリシヲ以テ斯ノ如キモノハ其權利ヲ繼續實行セシニ由ル。

基本財産蓄積條例

- 第一條 本村ハ本條例ノ規定ニ依リ大正二年度ヨリ大正四拾壹年度ニ至ル間基本財産ヲ蓄積ス
- 第二條 左記各項收入ノ内ヨリ毎年度金八百五十圓以上基本財産トシテ蓄積スルモノトス
  - 一、基本財産ヨリ生スル收入
  - 二、戸籍法及寄留法ニ依リ收入スル手数料
  - 三、國稅徵收交付金(國稅徵收集上必要ナル經費)及縣稅徵收交付金
- 第三條 村債ヲ起ス場合ニ於テハ村會ノ議決ヲ以テ其ノ起債ノ年度ニ限リ第二條ノ蓄積額ヲ減額シ若クハ停止スルコトヲ得前項ノ場合ニ於テハ其ノ減額若クハ停止年數ニ應ジ第一條ノ蓄積年數ヲ延長ス
- 第四條 基本財産收支精算要領ハ每壹年度ニ於テ之ヲ村内ニ公告ス
- 第五條 基本財産トシテ蓄積スヘキモノハ總テ豫算ニ編入ス
- 第六條 本條例ハ大正二年度ヨリ施行ス

### 三、學校基本財産増殖 (蓄積ノ方法種類限度)

#### 1、基金新設

本村ハ學校基金更ニナカリシモ明治四十四年三月村長(若槻)就職シ學校ニシテ基金ノナキヲ嘆シ村長就職記念トシテ村内有志者ニ原資ノ寄附並ニ慶事ノアルトキ應分ノ寄附スル事ニ規約ノ賛同ヲ得テ原資千六百八拾四圓ノ寄附ヲ受ケ爾來蓄積規程ヲ設ケ利倍増殖シ大正三年一月現在(五分利)公債額面貳千圓ヲ基礎トシ全四十七年度マテ四十五ヶ年間利倍増殖ヲ繼續實行スルハ仮定教育費貳千五百圓ヲ財産ヨリ生スル收入金ヲ以テ全部支辨シ得ル見込ナルヲ以テソレマテ蓄積シ大正四十六年度以後ハ更ニ村會ノ議決ヲ以テ本村適當ノ方法ヲ講スルモノトス

#### 2、蓄積方法

現在公債額面貳千圓ヲ基礎トシテ利倍増殖シ尙小學校基本財産蓄積並ニ管理規程ニ基キ歳入金ノ内學林ヨリ生スル收入授業料學校不用品賣拂代有志者寄附金等ヲ左ノ通毎年度利倍増殖スルモノトス

- イ、五分利公債額面貳千圓ノ利子 金百圓
- ロ、郵便貯金利子 金拾圓
- ハ、小學校授業料 金七拾圓
- ニ、全不用品賣拂代 金八圓
- ホ、慶事寄附金 金拾貳圓

將來以上各種ノ歳入増加チハカリ毎年度豫定ノ積立金貳百圓以上利倍増殖ノ目的ヲ達シタルトキハ村會ノ同意ヲ得テ規程ノ改正ヲ申請シ以上ノ殘額ハ毎年度經常部ノ支出ニ充用シテ村ノ發展策ヲ講スルモノトス

#### 3、寄附金

村長就職記念事業トシテ各家慶事ノアル時其他特ニ金品ヲ學校基金ノ内ヘ左ノ方法ニ依リ各自規約ニ基キ寄附スルコトナレリ將來一層奨勵ニ努力スルモノトス

- イ、元資金
- ロ、初子出産ノ際
- ハ、婚姻年賀等ノ際
- ニ、他町村ヨリ轉住又ハ分家ノタメ本籍ヲ定メタル際
- ホ、以上ノ外特志者ノ寄附ニ係ルモノ

金額ハ原資積立年限内ハ民産等級ニ應シ醸出ス其後ハ各自ノ隨意トス  
 金貳拾錢以上  
 金貳拾錢以上  
 金貳拾錢以上

掛合村小學校基本財産寄附金規約書

- 第一條 本村ニ本籍ヲ定メ住居スルモノハ掛合村高等小學校(以下單ニ小)基本財産ノ増殖ヲ圖ル爲メ本規約ニ依リ各自分度ニ應シ寄附金スルモノトス
- 第二條 前條ノ目的ヲ達スルタメ左ノ範圍ニ基キ醸出ス
  - 一元資金 有志者ノ寄附金
  - 二初子出産ノ際 金貳拾錢以上
  - 三婚姻、年賀等ノ際 金貳拾錢以上
  - 四他町村ヨリ轉住又ハ分家ノタメ本籍ヲ定メタル際 金貳拾錢以上
  - 五以上ノ外特志者ノ寄附ニ係ルモノ
- 第三條 他町村ヨリ轉住又ハ分家ノタメ村内ニ本籍ヲ定ムルモノハ本規約ニ加入ヲ請フモノトス
- 第四條 原資金ハ明治四十四年度ヨリ積立スルモノトス
- 第五條 寄附金ハ芳名録冊ヲ備置金額氏名ヲ記録シ其一冊ハ村役場ニ一冊ハ小學校ニ記念ノタメ永ク保存ヲ受ケルモノトス
- 第六條 第二條ノ寄附金ハ不動産米穀及物品ヲ以テスルモ妨ケナキモノトス
- 第七條 寄附金其他ノ收入ハ小學校ノ維持費ニ積立利子ハ利倍増殖若クハ學校備品費又ハ學林費等ニ支辨スルモノトス
- 第八條 本規約ハ正副二通ヲ製シ其正本ハ捺印ノ上村役場ニ其副本ハ各區長宅ニ保存ヲ請フモノトス

4、現金其他收入金利倍増殖方法

大正三年度ヨリ全四十七年度マテ即チ四十五ケ年間毎年度利倍増殖スルトキハ元利合計五万參百參拾貳圓九拾九錢トナル而シテ之レガ收入豫定高金貳千五百拾六圓六拾四錢九厘トナル即チ十年毎ノ

計算左ノ如ク

大正十二年 金四千五百八十四圓五十九錢八厘  
 全三十二年 金八千七百參十五圓九拾四錢七厘  
 全四十二年 金壹万六千六百五拾壹圓八拾貳錢九厘  
 全四十七年 金五万參百參拾貳圓九拾九錢  
 以上述フルガ如ク大正四十七年度ニ至リテ積立額ヨリ生スル處ノ利子一ケ年豫定額貳千五百拾六圓六拾四錢九厘ニシテ教育費貳千五百圓ヲ引去拾六圓六拾四錢九厘ノ殘額ヲ生スルニ至リ尙ホ大正四十八年度以後ハ大正六十二年度即チ學林主伐期マテ増殖スルトキハ教育費全部ヲ利子ヨリ支辨シ殘額本村戸數五百戶(大正四十二年度以後)ニ割當シテ見ルトキハ一戸平均額左ノ計算ニシテ餘裕ヲ得ル事トナル

年	教育費支辨殘額積立高	年利五分額	一戸平均
大正五十一年	八、二六四、七四七	四一三、二三七	八二六
全 五十二年	二、三〇九六、二六三	一、一五四、八一三	二、三〇九
全 五十五年	四八、二四二、〇五八	二、四二二、一〇二	四、八二四
全 六十年	九〇、六五四、三六二	四、五三二、七一八	九、〇六五
全 六十二年	一〇五、三二〇、八一四	五、二六六、〇四〇	一〇、五三二

學林反別九町八反歩ニ對シ大正九年度ヨリ全六十二年度ニ於ケル六十ケ年目即チ主伐年マテノ收入

代價ハ壹万八千九百五拾六圓トナル即チ左表ノ如シ  
造林収入豫定表

植付年	十五年目		二十五年目		三十五年目		主伐		合計
	年	代金	年	代金	年	代金	年	代金	
明治三十九大正九	三	大正一九	三	大正一九	七〇〇	大正四四	四、〇〇〇	四、七三九	
大正二全一六	三、全一六	三、全一六	三、全一六	三、全一六	七〇〇、全一六	四、〇〇〇	四、七三九		
全三全一七	三、全一七	三、全一七	三、全一七	三、全一七	七〇〇、全一七	四、〇〇〇	四、七三九		
全四全一八	三、全一八	三、全一八	三、全一八	三、全一八	七〇〇、全一八	四、〇〇〇	四、七三九		
全五全一九	三、全一九	三、全一九	三、全一九	三、全一九	七〇〇、全一九	四、〇〇〇	四、七三九		
全六全二〇	三、全二〇	三、全二〇	三、全二〇	三、全二〇	七〇〇、全二〇	四、〇〇〇	四、七三九		
全七全二一	三、全二一	三、全二一	三、全二一	三、全二一	七〇〇、全二一	四、〇〇〇	四、七三九		
全八全二二	三、全二二	三、全二二	三、全二二	三、全二二	七〇〇、全二二	四、〇〇〇	四、七三九		
全九全二三	三、全二三	三、全二三	三、全二三	三、全二三	七〇〇、全二三	四、〇〇〇	四、七三九		
計	一八、	一八、	二八、	二八、	一六、〇〇〇	一八、九五六			

備考 本表ハ代價ノ収入豫定高ヲ掲ケタルモノナリ

四、學校基本財産増殖 (不動産利用方法)

造林實行

現在學林反別十町二反九畝十一歩

造林反別九町八反歩 樹種杉檜人工造林

字大川平反別九町八反六畝十八歩ノ内九町八反歩ヲ大正二年度ヨリ全九年度マテ八ケ年間既設反別一

町歩ヲ除キ毎年度一町一反歩ヲ施業シ樹齡五十年(大正四十四年度ニ一町歩其他ハ大正五)ニ至リ主伐ス

植付后十五ケ年二十五ケ年及三十五ケ年目ニ間伐チ行フ又植付後五ケ年間ハ毎年下半年刈ルモノトス

造林費左ノ如シ

大正二年度	金五拾圓
全三年度	金六拾圓
全四年度	金七拾圓
全五年度	金八拾圓
全六年度	金九拾圓
全七年度	金九拾圓
全八年度	金九拾圓
全九年度	金九拾圓
全十年度	金七拾五圓
全十一年度	金六十圓
全十二年度	金四拾五圓

全 十三年度 金 參拾圓  
 全 十四年度 金 拾五圓  
 學林反別四反九畝十一歩 樹種天然雜木  
 字大川平杉檜植付殘反別六畝十八歩字五反地上へ山林四反二畝二十三歩ハ天然更新雜木山樹令三十年  
 毎ニ皆伐ス

小學校基本財産蓄積規程  
 第一條 小學校維持ノ基礎ヲ鞏固ナラシムルタメ本村小學校基本財産ヲ蓄積ス  
 第二條 前條ノ目的ヲ達スルタメ明治四十四年度ヨリ左ノ收入  
 金ハ毎年度小學校基本財産ニ編入ス  
 一 學林ヨリ生スル收入  
 二 小學校授業料  
 三 小學校用品費拂代  
 四 有志者寄附金  
 第三條 前條各號ノ外村經濟ノ許ス限度ニ於テ村費ヨリ元資トシテ隨時積立ヲナスコトアルヘシ

五、罹災救助資金増殖 (蓄積ノ方法種類限度)

此救助資金ハ條例ニ基キ大正二年度ヨリ全七年度ニ至ル七ケ年間ニ於テ本村戸數四百拾五戸ニ應シ村稅ヲ以テ蓄積額千貳百四拾五圓即チ一戸當リ金參圓以上ニ達スルマテ左ノ方法ニヨリ村稅ヲ以テ積立縣補助金ト共ニ債券又ハ郵便貯金ヲ以テ利倍増殖ヲハカルモノトス

蓄積方法

年 度	蓄 積 額	縣 補 助 額	計
大正二年度	一〇〇、	五〇、	一五〇、
全 三 年	一五〇、	七五、	二二五、
全 四 年	二五〇、	一二五、	三七五、
全 五 年	二五〇、	一二五、	三七五、
全 六 年	二五〇、	一二五、	三七五、
全 七 年	二五〇、	一二五、	三七五、
計	一二五〇、	六二五、	一、八七五、

積立年度内災害支出ヲ要セサルモノト仮定シ元利金貳千百六拾貳圓〇四錢一厘ニシテ本村戸數四百十五戸ニ割當スルトキハ一戸平均五圓貳拾錢九厘トナル若シ元資ヲ費消シ又ハ蓄積ヲ停止シタル場合ハ次年度以下ニ於テ之レヲ補充スルモノトス

基本財産罹災救助資金蓄積條例  
 第一條 本村ハ大正改元ノ紀念トシテ本條例ノ規定ニ依リ大正二年度ヨリ全七年度ニ至ル間ニ於テ本村ノ戸數ニ應シ村稅ヲ以テ蓄積額一戸當リ金參圓以上ニ達スルヲ目的トシ基本財産



二 本資金蓄積ニ對スル縣補助金  
 三 本資金ニ對スル寄附金  
 第三條 本資金ヨリ生スル收入ヲ以テ罹災救助費ニ充テ尙不足  
 ナ生シ元資ヲ費消シタル場合ニ於テハ貳ケ年以内ニ於テ蓄積  
 補充スルモノトス  
 第四條 村債ヲ起シ若クハ制限外課税又ハ特別税ノ新設増額ヲ  
 爲ス場合ニ於テハ其年度ニ限リ村會ノ議決ヲ以テ第二條ノ課

税ニ依ル蓄積ヲ減額若クハ停止スルコトヲ得此場合ニ於テハ  
 次年度以下ニ於テ之ヲ補充ス  
 第五條 本財産收支精算ノ要額ハ毎年度ニ於テ村内ニ公告スベ  
 シ  
 第六條 本財産トシテ蓄積スヘキモノハ總テ豫算ニ編入スベシ

六、貧民救助基金

七、軍人遺族家族救護基金

基金ハ別ニ積立ナサズ毎年度村費ニ豫算ヲ設ケ置キ救助スルモノハ其豫算範圍内ヲ以テ相當給與ス  
 大正八年度ヨリ同廿四年度マテ十七ケ年間毎年村税ヲ以テ左ノ年度ニ割當積立郵便貯金保管利倍増殖金  
 壹千圓ヲ以テ限度トス  
 但場合ニヨリ貯金ヲ以テ債券ヲ購入スルコトアルベシ  
 遺族家族救護方法ハ大正八年度后ニ於テ之ヲ設クルモノトス  
 金四拾圓 一ケ年積立額  
 但大正八年度ヨリ全二十四年度マテ十七年間トス

八、公用建物

役場建物及附屬建物ニシテ工事ヲ要スルモノハ左ノ年度内ニ於テ實行スルモノトス  
 役場費  
 (イ) 事務所模様替費五拾圓 大正五年度支出

(ロ) 事務所西側附庇費(坪)百圓 大正六年度支出

警備費  
 役場附屬建物警備器保存小屋添建(坪)工事費參拾圓 大正四年度支出

第三節 村 稅

一、將來村費概算

現今經常部合計五千七百貳拾六圓八拾壹錢ノ内財産造成費千參百參拾圓四拾壹錢ヲ扣除セバ金四千參  
 百九拾六圓四拾錢ニシテ既往十ケ年間ノ經常費平均額貳千四百四拾壹圓七拾貳錢トナリ一ケ年金百九  
 拾五圓四拾六錢八厘ヅ、増加ノ割合トナルモ大正三年度ヨリ全四十一年度マテハ一ケ年平均百貳拾五  
 圓ノ増加ヲ見込此増加額四千六百餘圓ニシテ大正四十一年度ノ總額ハ九千圓ニ上リ今日ノ經常費ニ對  
 シ一倍強既往十年間平均額ニ比シ三倍七分ニ達スルモノト認ム

二、財 源

財産積立額以上ノ收入 參百五拾圓

其他收入 六百圓

地租附加稅 五百五拾圓

戶數割附加稅 七千圓 (大正四十一年ノ現在)  
 (戶數五百戶ト假定)

營業稅雜種稅附加稅 參百圓

所得稅附加稅 貳百圓

營業稅雜種稅所得稅ノ附加稅ハ村費ノ負擔増加ノ場合ニ之ヲ課スルモノトス

三、將來村一戸當負擔額豫定  
 大正四十一年度ノ一戸負擔ハ金拾四圓ノ豫定ニシテ本村村稅戶數割附加稅ハ將來拾圓以上極度貳拾圓ヲ超過セシメサルノ方針ヲ以テ財政ノ整理ニ努ムベシ而シテ基本財産ノ増殖ト經費ノ節約ヲ講シ大正四十二年度ヨリ村稅戶數割附加稅ノ全廢ヲナスヲ目的トス

第二章 産業

第一節 農業獎勵

一、耕地整理施行豫定

大字方面	反		別		全上増		惣		收		量		全上増		一		工		
	整理前	整理后	反別	別	整理前	整理后	收量	前	后	反當	惣	額	收量	前	后	反當	惣	額	
掛合郡	五町五反歩	十五町七反歩	三反歩	五十五石三百二十七石六斗	百九十六石九石七斗七升	一石	二石	三石	二斗	三斗	四、六二〇、〇〇〇								
西谷	六町五反四畝	六町八反歩	二反	百七十七石	百三十六石	十八石	二石	二石	二斗	二斗	二、〇九二、八〇〇								

備考 整理后ニ於ケル増収量中ニハ増反別ヨリ生スル收量モ合算ス

本工事ハ將來十五年間ニ竣功シ増収量ハ工事竣成后五ケ年目ニ於テ豫定ノ最高額ニ達スルモノトス其増收ハ左ノ如シ

一金千六百六拾貳圓拾五錢 二十ケ年ノ后増収額

實行方法

大正七年度ヨリ指導獎勵逐次實行セシムルモノトス

二、田區改正

本村ニ於ケル豫定反別五十町歩ノ田區ヲ整理シ將來二十ケ年間ニ實行シ二十一ケ年目ヨリ左ノ増収ヲ學ケントス

一金八拾七圓五拾錢

一 反歩増収玄米壹斗、壹石代金拾七圓五拾錢五十町歩ニ對スル増額

實行方法

大正四年度ヨリ指導獎勵逐次實行セシムルモノトス

三、土地開墾

本村ニ於ケル原野豫定反別貳町歩ヲ大正三年度ヨリ向フ拾ケ年間ニ竣工シ十一ケ年目收量左ノ如シ

一金五拾貳圓五拾錢

一 反歩玄米一石五斗壹石代金拾七圓五拾錢

實行方法

青年會ヲシテ實行セシムルモノトス

四、土地變換

本村ニ於ケル豫定畑反別五町歩田ニ變換反別四町五反歩本工事ハ大正三年度ヨリ二十ケ年間ニ竣工シ豫定ノ最高額ニ達スルモノトス

大字	元		工		變換		反		變換		全	
	地目	反別	一反歩當惣額	惣額	地目	反別	一反歩當惣額	惣額	地目	反別	一反歩當惣額	惣額
掛合	畑	五町歩	二〇	一、〇〇〇	八斗	四町五反歩	一石六斗	七十三石	一七、五〇〇	一、二六〇		

一金五百六拾圓 增收額(一石ニ付拾七圓五拾錢)

實行方法

指導獎勵逐次實行セシムルモノトス

五、暗渠排水

近來毎年度實行シツ、アリト雖モ尙ホ施行ヲ要スルモノ四十町步延長貳万間アリ大正三年度ヨリ繼續十ヶ年間一ヶ年貳千間ツツ施行セシメ一反步ニ付玄米一斗ツ、ノ增收ヲ得ルモノトス  
一金七百圓 增收額(一石ニ付拾七圓五拾錢トス)

實行方法

村農會ヨリ毎年度百六拾圓(一間ニ付八錢)ヲ補助シ指導獎勵スルモノトス

六、穀類ノ改良

1、米作改良

本村田一反步米收量平均一石七斗ニシテ將來一層督勵ノ結果大正三年ヨリ十ヶ年ナ期シ一反步一斗宛ノ增收ヲ圖ラントス  
此金貳千五百六拾貳圓八拾七錢五厘

但田反別百四十六町四反五畝步ニ對シ一反步玄米一斗ノ增收此米百四十六石四斗五升一石ニ付拾七圓五拾錢

獎勵方法

村農會青年會青年農友會專ラ指導ノ任ニ當リ大正四年度ヨリ試作田ヲ各區ニ設置セシメ種類施肥害虫驅除栽培米質改良等ノ事業成績ヲ一般作人ニ告知シ漸次振興ヲハカルモノトス  
村農會ニ於テハ大正三年ヨリ三ヶ年間毎年度農作物品評會ヲ開クコト

2、麥作ノ改良

麥作付反別現在二十六町九反步ニ對シ大正元年度ニ於テ二百四十石ノ收量ヲ見タリ大正三年ヨリ五ヶ年ナ期シ種子ノ改善耕作ノ改良ヲハカリ一反步五升ノ增收ヲ舉ケントス  
一金百貳拾壹圓五錢 一石九圓

但作付反別二拾六町九反步ニ對シ增收量十三石四斗五升

獎勵方法

米作改良ノ方法ヲ適用スルモノトス

3、豆類ノ改良

本村豆類ハ將來發展ナ期スル望ナキカ如シト雖モ前記穀類ノ改良ト相俟テ種類ノ改良栽培法改善ノ必要アルヲ見認ム

種類	現在		五年後	
	作付反別	收量	作付反別	收量
大豆	十三町步	九十一石七斗	十三町步	九十七石五斗
小豆	六町五反步	二十六石四斗	六町五反步	三十七石九斗五升

金百貳拾貳圓貳拾錢

金九拾壹圓

金參拾壹圓貳拾錢

七、果樹ノ増植

備考

白小豆モ漸次獎勵ニ努力スルモノトス

大豆增收一石ニ付 拾四圓

小豆全 上 拾六圓

本村果樹ノ改良ハ市街ヲ有スル農村トシテ其必要ヲ認ムルコト大ナリ大正二年度ニ於ケル主ナル果樹  
 收入金六百余圓ヲ算ス依テ大正三年ヨリ農戶數二百三十六戸ニ對シ左ノ如ク五ケ年間ニ増植セシムル  
 モノトス

柿每戸二本 此本數四百七十二本  
 梨每戸二本 此本數四百七十二本  
 右ノ如ク植樹ヲ了セバ二十ケ年目ヨリ左ノ増收ヲ得ルモノトス  
 一金千四百圓 二十ケ年后ノ増收額

内 譯  
 金千八百八拾圓 柿ノ増收  
 植付后二十ケ年目一本ノ收益貳圓五拾錢ノ割ヲ以テ四百七十二本ニ對スル利益  
 金四百七拾貳圓 梨ノ増收  
 植付后十ケ年目一本ノ收益壹圓ノ割ヲ以テ四百七拾二本ニ對スル利益

八、蔬菜ノ改良

獎勵方法  
 村農會ニ於テ事業施行ノ監督ヲ行ヒ若シ枯損シタルキハ直ニ補植セシムルモノトス

種類	現		在		五		年	増	后	收
	作付反別	收量	一反步當	作付反別	收量	一反步當				
大根	三町五反步	三五、〇〇〇	一、〇〇〇	三町五反步	四二、〇〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇	七、〇〇〇		
蕪菁	五反步	五、〇〇〇	一、〇〇〇	五反步	六、〇〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇	一、〇〇〇		

葱	三反步	九〇〇	三〇〇	四反步	一、四〇〇	三、五〇	五〇〇		
牛蒡	三反步	四〇〇	一三三	四反步	六〇〇	一、五〇	一〇〇		
茄子	五反步	七五〇	一五〇	五反步	八五〇	一、七〇	一〇〇		

一金貳百八拾八圓  
 内 譯  
 金百七拾五圓 大根増收 十貫目ニ付 貳拾五錢  
 金參拾圓 蕪菁増收 全 參拾錢  
 金參拾圓 牛蒡増收 全 壹圓五拾錢  
 金八圓 茄子増收 全 八拾錢  
 金四拾五圓 葱増收 全 九拾錢

獎勵方法  
 村農會ノ指導獎勵ヲ以テ大正三年度ヨリ向フ五ケ年間ニ良種ヲ紹介シ實行セントス  
 九、特用作物ノ改良  
 1、桑、麻

種類	現		在		十		五		ケ	年	増	后	收
	作付反別	收量	一反步當	作付反別	收量	一反步當							
桑	十四町七反步	二元、四〇〇	二〇〇	二十三町九反步	五、五〇〇	二、三〇	二、三〇	三、一八〇					
麻	四町步	八〇〇	二〇	四町步	八六〇	三	三	八〇					

金貳千參百八拾貳圓

內 譯

金貳千參百拾八圓

金六拾四圓

桑增收 十貫目ニ付 壹圓  
麻增收 全 八圓

2、三極

植付豫定山反別三十一町二反歩ノ内二十一町二反歩ハ作業中ニ付殘十町歩ノ實收益左ノ如シ  
收入金四千圓

一町歩二百五十釜(一釜十二貫)此釜數二千五百釜一釜ニ付壹圓六拾錢

備考

此製剝賃五百貳拾五圓一釜ニ付貳拾壹錢生一釜十二貫又ニ貫五百匁ニ製剝ス  
十五年后反別二十一町二反歩全部植付トシ其增收金左ノ如シ

增收金八千四百八拾圓

釜數五千三百釜一釜ニ付壹圓六拾錢

備考

此製剝賃千百拾參圓 一釜ニ付貳拾壹錢 五千三百釜分

獎勵方法

三極ニ於テハ大正三年二月掛合町製紙原料販賣組合創立ノ議決ヲナセルヲ以テ之レカ發達ヲハカリ其他ハ大正四年度ヨリ漸次指導獎勵ニヨリ十五ケ年后ニ於テ前表ノ目的ニ達セントス

10、二毛作ノ獎勵

田反別ノ内十町歩ニ紫雲英五町歩ニ麥十町歩ニ苜蓿ヲ栽培シテ大正三年度ヨリ二十ケ年后ニ於テ左ノ

增收ヲ舉ケントス

一金五百四拾壹圓

增收額

內

譯

1、紫雲英ノ利益 金百壹圓

紫雲英ハ一反歩收入金參圓(生草五百貫目)支出金壹圓九拾九錢(種子二升價格七拾錢過燐酸五貫目價格六拾五錢木灰八斗價格六拾四錢)差引一反歩利益壹圓壹錢ノ割ヲ以テ十町歩ニ對スル利益

2、麥作ノ利益 金參百五拾貳圓

麥一反歩ノ收入金拾圓九拾八錢(麥一石二斗一石ニ付九圓價格拾圓八拾錢麥稈拾八錢(一縮壹錢價格拾八錢)支出金參圓九拾貳錢(種子八升一石九圓價格七拾貳錢堆肥三百貫十貫目四錢價格壹圓貳拾錢人糞尿二十荷一荷拾錢價格貳圓)差引一反歩ノ利益七圓六錢ノ割ヲ以テ五町歩ニ對スル利益

3、苜蓿作ノ利益 金拾八圓

苜蓿一反歩ノ收入金貳圓四拾錢(生草三百貫目)支出金貳圓貳拾貳錢(種子一斗五升價格壹圓貳拾錢過燐酸五貫目價格七拾錢木灰四斗價格參拾貳錢)差引一反歩ノ利益拾八錢ノ割ヲ以テ十町歩ニ對スル利益

二、宅地ノ利用

本村現在宅地反別十三町七反一畝歩ノ内建物以外ノ間隙ノ利用法全ク行ハレズ有用ノ土地ヲモ空地トシテ顧ミラレザルノ情況ヲ呈ス依テ大正三年以后ハ村農會ヨリ之レカ利用ヲ督勵シ十ケ年后ニ於テ宅地品評會ヲ開カントス

第二節 畜産獎勵

一、牛ノ改良

農家戸數二百三十六戸ニシテ已往五ヶ年間平均頭數牝牛百八十七頭牡牛二百六頭積牛六十七頭トナリ

將來ハ牝牛二百三十頭牡牛二百三十頭ニ増殖獎勵スルモノトス

畜牛ノ改良ハ數年前ヨリ實行シツ、アリ尙ホ大正三年度ヨリ優良ナル種牝牛ヲ相當設備セシメ傍ラ牝

牛ヲ増シ以テ生産力ヲ増加スルトキハ大正三年度ヨリ十五ヶ年后ニ於テ左ノ増收ヲ得ルナリ

牝牛六十八頭 一頭平均貳拾圓

此金千參百六拾圓

牡牛五十頭 一頭平均拾五圓

此金七百五十圓

計金貳千百拾圓

年々收入額

内 牝牛四十頭此金八百圓 已往平均生産高

牡牛三十二頭此金四百八拾圓 全上

計金千貳百八十圓

増收金八百參拾圓

牝牛二十八頭牡牛十八頭増殖ノモノ

獎勵方法

時々共進會ヲ開キ種類ノ改良ヲハカリ特ニ牝牛ノ改善ニ力ヲ注クモノトス

馬ノ改良

本村牡馬二頭牝馬六頭現在飼養セルモ役用ニ使用セルモノノミニシテ蕃殖ヲ主トスルモノナシ依テ獎勵ノ必要ヲ認メズ

三、養鶏

本村農戸數二百三十六戸此半數則チ百十八戸ニ對シ一戸四羽ヅ、左ノ通り獎勵ス

四百七十二羽 内 雄百十八羽 雌三百五十四羽

内 二百五十成禽 (現在數)

卵一万五千個 價格貳百貳拾五圓

増數二百二拾二羽 内 五十五羽雄 百六十七羽雌

卵一万六千七百個

金參百參拾四圓 増收金

但一個代貳錢

獎勵方法

大正四年度ヨリ向フ十ヶ年間ニ指導獎勵漸次實行セシムルモノトス

家畜市場

家畜市場ハ大正二年七月ノ創立ニシテ年々要スル費用ハ約百五拾圓ナリ大正二年中收入シタル手数料

金ハ五回ヲ通テ七拾九圓五拾錢ヲ算セリ全年ハ本村經營ノ初回ニシテ其寡少ナリシハ當然ノ事ナル

モ今後銳意之カ發展ニ畫策セハ其隆盛ヤ期シテ疑ナカルベシ茲ニ發展策ノ手段トシテ大正四年度ヨリ

春秋ノ二回開市ニ方リ毎回金拾圓ヲ投シテ入場牛馬及賣買牛馬ニ對シ景品ヲ配付シテ之カ景氣ヲ添ヘ

年ト共ニ益々牛馬ノ入場ヲ多カシメントス而シテ五年后ニ至リテ止ム此時ニ至リ入場頭數ハ優ニ一

千頭下ラザルニ至ルベシ今年次増加ノ概畧ヲ示セバ左ノ如シ

年次	入場頭數	賣買頭數	料金	摘	要
大正二年	四〇四	一九五	七九 <sup>円</sup> 四〇〇		
三年	五〇〇	二九〇	一六、〇〇〇	毎回廿五頭増シ	
四年	六五五	三四三	一三、九〇〇	毎回十五頭増シ	
五年	七九〇	三九五	一五、〇〇〇	全	
六年	八九五	四七七	一七、九〇〇	全	
七年	一、〇〇〇	五〇〇	二〇、〇〇〇	全	

金五拾圓 六ヶ年目ヨリ増收金

家畜市場經營費

本市場ハ大正二年六月ノ建築ニシテ當分屋根修繕費ニ多額ヲ要セザルモ市場地ハ掛合町人家稠密地ニ接近シ一朝火災等ノ際危険ノ虞アリ加フルニ永久ニ曾木葺トスルハ不利益ナルモ暫ク經濟上ノ許サハル處ナレハ事務所ハ瓦葺ニ其他ハ曾木葺トナシ置ク方針ヲ取ル屋根修繕費豫定額左ノ如シ

- 物置小屋六坪 金拾圓 大正十年支出
- 事務所三十一坪 金百參拾七圓 大正廿五年度支出
- 附屬建物十坪 金拾五圓 全 廿七年度支出

五、牧場

畜舎百六十三坪五合 内 百坪金百五拾圓 全廿六年度支出  
六十三坪五合金百圓 全廿七年度支出

牧場ハ大正元年五月ノ創設ニシテ元年、二年ノ兩年度ハ外柵新設費ノ多額ヲ要シタルモ今ヤ設備完成シ大正三年度以後ハ其修補ニ止マルヲ以テ經營費モ多額ノ支出ヲ要セサレト牧場ノ樹木ヲ伐採シ漸次牧草ノ繁茂セルトニ依リ將來有望ノ牧場トナレリ隨テ放牧頭數逐年増加ノ見込アル事ハ豫期スベキナリ今其面積及放牧頭數概算ヲ示セバ左ノ如シ

年	放牧頭數	使用料	同一頭當	經費	利	△損
大正元年	一三〇 <sup>頭</sup>	一〇四 <sup>円</sup>	八〇〇	一一三 <sup>円</sup>		△一九 <sup>円</sup>
二年	一三二	一三二	一、〇〇〇	一三六		△四
三年	一五〇	一五〇	全	九〇		六〇
四年	一六〇	一六〇	一、〇〇〇	全		七〇
五年	一七〇	一七〇	全	全		八〇
六年	一八五	一九〇	全	全		一〇〇
七年	二〇〇	二〇〇	全	全		一一〇

備考 大正七年度ヨリ毎年百拾圓ツ、利益ノ見込ナリ  
牧草欠乏ノ地ヘハ時々牧草種子ヲ播種育成スルモノトス  
第三節 蠶業獎勵

一、春蠶

現在春蠶飼育戸數百參拾八戸掃立卵種百二十九枚五分ナリ將來總戸數四百戸ニ對シ掃立卵種平均五歩此卵種貳百枚ヲ飼育セシメ七十枚五歩ノ増加ヲナシ増收七十石五斗ヲ得ル豫定ナリ  
増收金貳千八百貳拾圓 一石ニ付四拾圓ノ割  
右ノ増收ヲ得ントセハ桑園七町二反(一反步桑葉二百二十貫目)ヲ大正四年度ヨリ十五ケ年間ニ増設セシムルモノトス

二、夏秋蠶

現在夏蠶飼育戸數十二戸掃立卵種四枚秋蠶飼育戸數百二戸掃立卵種四十九枚卵種計五十三枚ナリ將來戸數四百戸卵種平均二步五厘此卵種百枚ヲ飼育セシメ四十七枚ノ増加ニナシ(卵種一枚ニ繭八斗)増收額三十七石六斗ヲ得ル豫定ナリ  
増收金千五百〇四圓 一石ニ付四拾圓ノ割  
右ノ増收ヲ得ントセハ桑園二町步(一反步桑葉二百二十貫目)ヲ増設シ不足桑葉ハ春蠶用ノ桑園ニテ補給スルモノトス

獎勵方法

- 1、蠶種ハ共同購入稚蠶飼育獎勵農會ヨリ獎勵費トシテ大正四年度ヨリ當分ノ内金貳拾圓以内ヲ支給スルモノトス
- 2、桑園新設、九町二反(一反步桑苗六百本)植付本數五万五千二百本一本ニ付三厘宛此金百六拾五

圓六拾錢之レヲ村農會ヨリ十五ケ年間ニ補助シ大正四年度ヨリ實行ス

3、既設桑園、已往ノ實績ニ徵スルトキハ施肥手入等ヲ怠リ爲ニ收穫ノ年々減少ヲ生スルノ感アリ將來ハ各自施肥手入ニ注意シ現在ノ二割以上ノ増收ヲ得セシムル事ニ努力スルモノトス尙ホ時々桑園品評會ヲ開キ當業者ノ精勵努力ヲ促サントス

三、生糸

現	在	計
戸數	製糸數量	價
四	一〇	四七〇
十五	五	一五
七〇五		七〇五

一金貳百參拾五圓

生糸ノ増收

此製糸ノ改良方法

是迄座繰器械ヲ使用シ居ルモ將來ハ全部足踏器械ニ改良セントス

獎勵方法

大正四年度ヨリ十五ケ年間ニ逐次實行セシムルモノトス  
屑繭ハ可成各戸ニ於テ整理ノ上賣却スルヲニ獎勵スルモノトス

第四節 林業獎勵

一、用材林及薪炭林栽植

本村村民所有ノ山林反別千三百六十九町八畝二十四步ニシテ本村ハ殆ト天然造林ナリシモ近來杉扁柏ノ人工造林行ハレ其栽植反別三百三十町六反步ニ達シ益々發展ノ域ニ臨メリ依テ林地百四十五町步ヲ劃シ内五十町步ニ杉十八町步ニ扁柏十四町步ニ松十五町步ニ栗四十八町ニ櫟ヲ造林シ以テ本村林産ノ



収益ヲ永遠ニ鞏固ナラシメントス其造林計畫左ノ如シ

1、杉造林、用材ヲ得ル目的トシ造林反別ハ五十町歩ニシテ輪伐期ヲ五十年トス毎年一町歩ニ植付ヲ行ヒ一町歩苗植付本數三千本トシ輪伐期ニ至リ千本主伐スヘク施設ヲ將來五十年目ヨリ左ノ收入ヲ得ル者トス

一金貳千圓 五十年后ノ收入金

五十年目ノ杉材一本ノ價格貳圓ノ割ヲ以テ一町歩ヨリ主伐スル千本ノ價格

2、扁柏造林、用材ヲ得ル目的トシ造林反別十八町歩ニシテ輪伐期ヲ六十年トシ毎年三反歩ニ植付ヲ行ヒ一町歩苗植付本數三千本トシ輪伐期ニ至リ千本主伐スヘク施設シ六十年目ヨリ左ノ收入ヲ得ルモノトス

一金七百五十圓 六十年后ノ收入金

六十年目ノ扁柏材一本ノ價格貳圓五拾錢ノ割ヲ以テ三反歩ヨリ主伐スル參百本ノ價格

3、松造林、用材ヲ得ル目的トシ造林反別十四町歩ニシテ輪伐期ヲ七十年トシ毎年二反歩ニ苗植付ヲ行ヒ一町歩苗植付本數二千本トシ輪伐期ニ至リ千本主伐スヘク施設シ七十年目ヨリ左ノ收入ヲ得ルモノトス

一金參百圓 七十年后ノ收入金

七十年目ノ松材一本ノ價格壹圓五拾錢ノ割ヲ以テ二反歩ヨリ主伐スル二百本ノ價格

4、栗造林、用材ヲ得ル目的トシ造林反別十五町歩輪伐期ヲ五十年トシ毎年三反歩ニ苗植付ヲ行ヒ一町歩苗植付本數千本トシ輪伐期ニ至リ七百本主伐スヘク施設シ五十年目ヨリ左ノ收入ヲ得ルモノトス

一金四百貳拾圓 五十年后ノ收入金

五十年目ノ栗材一本ノ價格貳圓ノ割ヲ以テ三反歩ヨリ伐採スル二百十本ノ價格

5、櫟造林、木炭材ヲ得ル目的トシ造林反別四十八町歩ニシテ輪伐期ヲ二十ヶ年トシ六十年間毎年八反歩ニ苗植付ヲ行ヒ一町歩苗植付本數五千本トシ輪伐期ニ至リ四千本ヲ伐採スヘク施設シ將來六十ヶ年目ヨリ左ノ收入ヲ得ルモノトス

一金六百七拾貳圓 六十年后ノ收入金

二十年目櫟一本ノ價格七錢ノ割ヲ以テ二町四反歩ヨリ伐採スル九千六百本ノ價格

獎勵方法

大正四年度ヨリ指導獎勵逐次實行セシムルモノトス

二、部分林設定

1、島根縣部分林、明治四十年九月十六日地上權設定證書ヲ交換シ其總反別八十二町二反四畝歩アリ作業明治四十年ヨリ同四十四年度マテニ全部完了シ其年度別左表ノ如シ

年度別	植付面積	樹數	作業費	備
明治四十年	10,563	55,100	253,748	樹種 杉
全四十一年	8,437	36,000	210,650	全
全四十二年	9,509	43,170	269,733	全
全四十三年	11,438	51,462	371,139	全
全四十四年	9,310	37,540	305,660	全

計	四九、四三六	二四、三三三	一、四三九、九一〇	反別ハ平面實測ニ付土地 台帳面トハ符合セズ
---	--------	--------	-----------	--------------------------

イ、地上権存続期間ハ明治四十年十月一日ヨリ向フ五十年(大正五十年ニ當ル)トシ尙ホ地上権者ニ於テ必要アルトキハ本契約ヲ繼續スルモノトス又地上権者ハ地上権存続期間内ト雖モ任意ニ契約ヲ解除スルコトヲ得

ロ、地代ハ特ニ之ヲ支拂ハズ土地ヨリ生ズル收益ハ總テ之ヲ百分シ其八十ヲ地上権者ニ於テ其二十ヲ土地所有者ニ於テ之ヲ收得ス

2、島根縣農會部分林 明治四十一年七月三十一日地上権設定契約書ヲ交換シ其惣反別八十五町一反九畝步アリ作業ハ明治四十一年度ヨリ大正四年度マテ八ヶ年繼續ニシテ施業中ナリ其年度別其他左表ノ如シ

年度別	植付面積	樹	數	作業費	備	考
明治四十一年	五、〇〇〇	杉	一五、〇〇〇	二、三三〇		
全 四十一年	五、〇〇〇	杉	一五、〇〇〇	三、〇七〇		
全 四十三年	五、三九六	杉 檜	八、七〇〇 七、五〇〇	四、六〇九		
全 四十四年	四、七〇六	杉	一〇、一三六	四、六五二		
大正元年	五、一三七	杉 檜	一〇、八八七 四〇、〇〇〇	四、六九〇		

年度別	植付面積	樹	數	作業費	備	考
全 二年	五、五〇六	杉 檜	一一、四五二 三〇、〇〇〇	四、六五〇		
全 三年	一〇、九二六	未着手		一、五〇二	植付作業ハ中止 費用ハ造林地手入費	
全 四年	八、三四八	全上		未定		
計	五〇、〇八一			二、五九六	反別ハ平面實測ニ付土地 台帳面トハ符合セズ	

イ、地上権存続期間ハ明治四十一年四月一日ヨリ向フ五十八ヶ年(大正五十四年ニ當ル)トシ尙ホ地上権者ニ於テ必要アルトキハ本契約ヲ繼續スルモノトス又地上権者ハ地上権存続期間内ト雖モ任意ニ本契約ヲ解除スルコトヲ得

ロ、地代ハ特ニ之ヲ支拂ハズ土地ヨリ生ズル收益ハ總テ之ヲ百分シ其八十ヲ地上権者ニ於テ其二十ヲ土地所有者ニ於テ之ヲ收得ス

三、木炭事業改良

現在本村民ノ製産約十三万五千貫目ニ達シ居ルモ益々發達ノ域ニ臨メリ依テ林地四十八町步ニ櫟ヲ向六十ヶ年間一ヶ年ニ八反歩ノ植付ヲ行ヒ二十ヶ年ヲ一期トシ輪伐シ六十ヶ年目ヨリ左ノ收入ヲ得ルモノトス  
一金千七百七十六圓  
六十年目二町四反歩木炭一万六千八百貫目(一反歩七百貫目)ノ價格  
十貫目ニ付七拾錢ノ價格

獎勵方法

現在ノ製炭ニ就テハ品質ノ改良ニ努力シ櫟製炭ニ就テハ大正二十三年度ヨリ指導獎勵漸次實行セシムルモノトス

四、桐ノ獎勵

本村ニ現今桐四百本ヲ有スルモ將來大ニ必要ヲ感シ一層督勵ヲ加ヒ千本ニ達セバ六百本ノ増加トナリ  
 大正四年ニ植付ヲ行ヒ十五年目ニ於テ伐採スルトキハ左ノ收入ヲ得ルナリ  
 金參百圓 十五年目ノ收入金  
 桐六百本一本ニ付五拾錢  
 獎勵方法  
 大正五年度ヨリ實行セシムルモノトス

第五節 工業獎勵

一、諸工業

種類	現		在		十五年		后		計
	戶數	製造數量	價格	單價	戶數	製造高	價格	單價	
履物	七	10,000	1,000	5.5	七	30,000	1,500	5.5	500
三極製綢	100	2,500	5.5	2.2	130	2,500	2,625	2.2	2,100

一金貳千六百圓

內

金五百圓

履物

金貳千百圓

三極製綢增收

獎勵方法

大正三年度ヨリ向フ十五ヶ年間逐次實行セシムルモノトス

一、養魚

第六節 水産ノ獎勵

種類	現		在		將		來	
	養殖場數	養殖面積	數量	價格	養殖場數	養殖面積	數量	價格
鯉	四	60.2	四	六	三〇	七、五〇〇	四	六七、五〇〇
鮎					三〇	七、五〇〇	10	10,000

一金八拾壹圓五拾錢

內

金六拾壹圓五拾錢

鯉增收

金貳拾圓

鮎增收

獎勵方法

大正七年度ヨリ向フ十ヶ年間逐次實行セシムルモノトス  
 宇瀧ガ平雄瀧岩石ヲ粉碎スルノ方法ヲ講シ鮎ヲ掛合川全般ニ上ラシムルノ途ヲ開キ水産物ノ繁殖ヲハカルモノトス

第三章 土木

第一節 交通

一、道路修繕

名道	起	終	延	幅	經	營	摘	要
解路	点	点	長					
今谷	下字道ノ	吉田村大字民谷境今谷峠	千 百 間	五尺	現在道路ヲ修繕維持スルモノトス			
鷹ノ巢	字出店	全村大字吉田村鷹ノ巢	四百九十二間	七尺	全			
穴見谷	字平岩橋床	全村大字今字小畑下橋床	千 七 間	六尺	全			
迫	字十田川	松笠村字井手谷峠	千 八 間	六尺	全			
郡	字金原	字 野 田	五百八十三間	七尺	全			
縣	全	中野村大字須所梨ヶ峠	千六百四十七間	九尺	全			
須佐	字十日市	松笠村松ヶ峠	千九十八間	九尺	已ニ改修濟ニ付大正三年度ヨリ向フ五ケ年間ハ金拾圓ツノ支出修繕ヲ加ヘ其後ハ他ノ道路ト同様修繕ス			
中ノ瀬	子松尾屋前	全	九百三十六間	六尺	現在道路ヲ修繕維持ス			

二、橋梁修繕

橋梁名稱	延	長	幅	經	營	摘	要
葛 畑	四 間	五 尺			現在ノ如ク土橋繼續ス		
大志戸	六 間	六 尺			全		

奥	明	三	間	三	尺	六	尺	全
西	谷	四	間	六	尺	六	尺	全

左記四ヶ所ノ橋梁ニハ毎年度修繕費渡切トシテ左ノ通支出スルモノトス

中ノ瀬橋 金貳圓

郡リ橋 金壹圓五拾錢

古殿橋 金八拾錢

タツノ木橋 金七拾錢

井原谷橋 金壹圓

身内原橋 金八拾錢

三、道路改修繕橋梁架設

1、吉田道ノ改修及橋梁架設

延長凡千五百五十二間九厘

此工費一万八百四拾七圓貳拾參錢

外ニ家屋移轉料百八拾九圓六拾六錢

民有地漬地買收價格參百拾壹圓貳拾貳錢壹厘

民有地用水路付替漬地買收價格壹圓六拾八錢壹厘

本線ハ郡道編入ノ見込ナリ

内橋梁延長十一間三步

- 2、中野道（現今縣道名稱ノ分）  
本線ハ大正十五年ヨリ改修スルモノトス
- 3、左記ニケ所ノ橋梁ハ從來個人ノ掛ケ來リタル處ナリシモ交通頻繁ノケ所ニ付流出保護トシテ塵勿杭ヲ新設村費ヨリ支出スルモノトス
- 中ノ瀬橋 參拾五圓 大正五年度支出
- 郡リ橋 貳拾五圓 大正六年度支出

第二節 水利

一、堪埭改造

字川附向關ハ現在卷埭ヲ維持シ其他字馬繫、身内原、小畑、濟溜、三砂、釜ガ淵、五反地、上關、馬場ケ原、大原、北一原、二ノ渡リ、柿ノ木原、以上ノ十三ヶ所ハ埭堪ナリシモ將來ハ漸次卷埭築造ニ努ムルモノトス

二、灌溉用澗池新設

位置	面積	工費	灌溉面積	摘要
段畑	一反五畝步	六〇四	二町六反一步	耕地整理施行ト同時ニ着手シ十五ケ年間ニ竣功セシムルモノトス
室屋	五畝步	二〇〇	八反廿一步	
深谷	一反	四〇〇	一町五反一畝一步	全

三、消防用池新設

位置	面積	工費	目的	大正四年度ヨリ三ケ年度内
町後	一畝步	四〇四	掛合町警備用	全
全	二十步	三〇	全	全
全	二十步	三〇	全	全
全	二十步	三〇	全	全

四、水道

本村經濟ノ許シ場合ニ於テハ將來適當ノ時機ヲ見計ヒ掛合町常設水道ヲ布設シ飲料水及消防用ニナサントス

町後口井手ハ大正四年度ヨリ五ケ年以内ニ關係地主ニ協議ヲ遂ケテ常設用水ニ改設シ掛合町消防用ニ設備スルモノトス

第四章 教育

第一節 普通教育

一、校舍校地校具ノ設備

出生児童

大正二	大正一	明治四十	明治四十	明治四十	明治四十	明治四十	明治三十	明治三十	明治三十
學年	學年	學年	學年	學年	學年	學年	學年	學年	學年
出生	四	四	四	四	四	四	四	四	四
死亡	三	九	四	六	二	四	九	九	一〇
差引	四	三	三	三	三	四	三	三	三
	三	三	三	三	三	三	三	三	三

本表ニヨレバ既往十ヶ年ニ於ケル本村毎年學齡兒童數ハ二十九人乃至四十一人ナリコレニヨリ將來ヲ推察スルニ今一學級ヲ増加スル必要アリ

1、校舍

イ、今一學級ヲ増加スルモ教室ノ模様替ヲナスノミニテ増築ノ必要ナシ  
 ロ、新設セントスルモノ

名稱	經費	附	記
奉藏庫	百五拾圓	大正四年度施行	
教員住宅	五百貳拾五圓	內 貳百六拾五圓 貳百六拾圓	大正十一年度施行 全 十二年度施行

ハ、屋根替

場所	坪數	經費	附	記
北側校舍屋根兩側	八四	一〇〇〇	大正四年度施行	
体操場(舊建築ノ部)	五〇	六〇〇	全 五年度施行	
炭小屋	三	三六〇	全 七年度施行	
南側校舍北側	六七	八二〇	全 十八年度施行	
中央校舍后側(大正元年葺替ノ分)	八三	九九〇	全 二十年度施行	
体操場新築ノ分	五	六〇〇	全 上	
便所及廊下	一九	三六〇	全 二十二年度施行	
南側校舍南面	六七	八二〇	全 二十三年度施行	
中央校舍前面	八三	九九〇	全 二十五年度施行	
物置小屋兩側	一七	二〇四〇	全 上	
北側校舍兩側	八四	一〇〇〇	全 二十六年度施行	

ニ、中央、北側(教室擴張ノ場合) 校舍ノ廊下ト教室トノ間ノ敷居及障子模様替

經費 貳拾五圓 中央ノ分大正四年度施行  
拾五圓 北側ノ分教室擴張ノ際施行

＊、土壁塗替（中央及北側校舍土壁）

坪數 三〇坪（表裏）

經費 七拾五圓 大正五年度施行

ハ、屋根ハ適當ナル時機ニ於テ瓦葺トスル必要アリト認ム

校地

イ、運動場現今ノモノニテハ狹隘ニテ全兒童ヲシテ自由ニ運動遊戯ヲナサシムルユトアダハズ

少クトモ兒童一人ニ對シ一坪二合ノ面積ヲ與ヘザルベカラズ  
將來十ケ年間ニ於ケル本校兒童數ハ過去十ケ年間ニ於ケル學齡兒童數ヨリ推察スルモ三百人ヲ出  
デザルベシ依ツテ二百坪ヲ増加シ三百六十坪トナサントス

備考 現在運動場トシテ適當ナル坪數ハ百六十坪ナリ

右工事費用 八拾圓 大正八年度マテニ施行

中央校舍背面長十六間幅一間敷地擴張  
右工事費用 貳拾圓 大正八年度施行

ハ、雜設備

名稱	經費	附	記
門柱	五〇	全	
牆柵	三〇	大正八年度マテニ施行	

消防池	三〇	全	
森林運動場	一〇	全	

ニ、實習園ハ現在畑ノミナレテ將來ニ於テ田ヲ設置スル必要アリ  
＊、校地ハ適當ナル時機ニ於テ買上グル必要ヲ認ム

3、校具

名稱	設備スベキ箇數	價格	附記	備考
實物標本	九七	八四六七五		各教具ノ細名稱及價格ハ別冊 調査書ニ記載ス
理化學器械	五三	一四五六〇	大正四年度 ヨリ全十年 度マテ年額 五十八圓宛 購入	
掛圖	一五	四〇九〇〇		
模型	九	一五七五〇		
家事用具	一四六	一七九五六		
裁縫教具	五五	二五二三一		
体操用具	三三	三〇九〇〇		
手工用具	二七	四五〇〇〇		

計	六九七	四〇四	九六二
---	-----	-----	-----

參考書ハ毎年參拾圓購入(大正四) 机腰掛ハ毎年拾圓ヅ、新調スルモノトス(大正四年)  
 度ヨリ

二、就學出席ノ獎勵

1、就學

本村貧困兒童中現在食費補助ヲ要スルモノ八人アリ來學年ヨリ向フ十ケ年間増加ナキモノト認ム  
 右貧困兒童ニハ食費トシテ一日米一合乃至三合ヲ給與シ學用品ハ全部又ハ一部ヲ給與或ハ貸與ス  
 ルモノトス

2、出席

消極的方法トシテハ本郡訓令ニ基キ督勵ヲ嚴ニシ一方積極的ニ每學年末ニ精勤者ヲ表彰スルモノトス

三、教員ノ俸給

本校職員俸給平均額ハ目下拾八圓ナレトモ將來時勢ニ鑒ミ村會ノ決議ニヨリ貳拾圓ニ増額スルモノトス

四、教員ノ待遇

他市町村ヨリ來住スル教員ニハ之ガ待遇トシテ住宅料ヲ支給スルモノトス

一家ヲ構ヘタルモノハ月額壹圓 一人五拾錢 大正四年度ヨリ施行

然ラザルモノハ 一人五拾錢 大正四年度ヨリ施行

五、學校衛生

1、水口改造

現在ノ水口ニテハ時々河水等ノ浸入スルコトアリ將來改造ノ必要アリ  
 經費五圓 大正四年度施行

2、衛生的設備

イ、湯呑場ノ設備ヲ完全ニスル事

ロ、病兒治療法

傳染病消毒藥備付ヲ完備セシムルコト

3、トヲホーム治療

醫務室並應急手當設備ヲ完全ナラシムルコト

毎月二回學校醫ハ檢診ヲナシ患者中疑似症ノモノハ學校ニ於テ点眼ヲナシ輕症以上ノモノハ學校醫  
 ニ於テ直接治療ヲナス患者ト他兒童トハ成可ク區別シ患者ハ毎朝消毒液ニテ手指ヲ消毒セシムルモ  
 ノトス

4、貧困兒童施療

貧困兒童中疾病ニカ、ル者アルキハ藥價ヲ補助シ治療セシムルモノトス

5、森林運動場設備

酷熱ノ候日光ノ直射ヲ防ガシガ爲メ運動場ノ西南方周圍ニ樹木(落葉樹常綠樹)ヲ栽植シ以テ休息  
 逍遙ニ適セントス

六、加設科目

尋常科兒童ニハ大正六學年度ヨリ手工科ヲ加設セントス

第二節 實業教育

一、實業補習學校

實業補習學校令ノ規定スルところニ從ヒ實業ニ要スル知識技能ヲ授クルト同時ニ普通教育ノ補習ヲナ



第三節 庶民教育

一、圖書館

- 1、一般人民ノ讀書力ヲ増加シ且ツ新知識ヲ得セシムルヲメ本村報徳會ノ事業トシテ本村小學校ニ附設セリ
- 2、將來巡回文庫ヲ設ケ圖書閱覽ニ便ナラシメントス
- 3、開館ハ毎日午前八時ヨリ午後五時迄トス
- 4、經費 報徳會ノ負擔トス

二、簡易講習

家事作法園藝肥料裁縫染色衛生育兒看護社會改良等ニツキ農閑期適當ノ時期ヲ選ビ講習會ヲ開クコトス

三、公開講演

學校ト家庭トノ連絡神佛尊敬報徳思想養成社會改良等ノ目的ヲ以テ適當ナル時期開會スルモノトス

四、報徳會報徳主義ニ基キ諸般ノ發達ヲ圖ルヲメ該會ヲ組織セリコレヲ分ケテ戸主部會、青年部會、婦人部會トス各部會ハ支會ヲ設ケテ指導獎勵シ現報徳會々則ニ基キ其目的到達ニツトム

掛合村報徳會々則

第一條 本會ハ明治四十一年十月十三日ヲ以テ煥發セラレタル戊申詔書ノ聖意ニ奉答センカタメ身ヲ修メ家ヲ齊ヒ共同ノ力ニ依リ相互ノ幸福ヲ進ムルノ目的ヲ以テ左記二項ノ實踐躬行ヲ期セントス

一、常に親睦協和ヲ旨トシ各自其職ニ精勵シ財産ノ分度ヲ守リ善ヲ積ミ協同救護シテ郷土ノ永安ヲ計ルコト

二、報徳ノ訓ヲ確守シ天地ノ宏大無邊ナル恩徳ヲ報ユルニ費德行ヲ以テスルコト

第二條 本會ハ掛合村報徳會ト稱シ戸主部青年部婦人部ノ三部

掛合村報徳會戸主部會々則

ニ分チ本部及戸主部ヲ掛合村農會事務所内ニ青年部婦人部ヲ小學校内ニ置キ各部トモ支會ヲ各區ニ置ク

第三條 本會ハ第一條ノ目的ヲ達スルヲメ懇話會講演會其他善行ノ獎勵及ヒ勤儉貯蓄ノ法ヲ講シテ獨立自營ノ基礎ヲ強固ニナスコト

第四條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

本部  
總裁一名 會長一名 副會長二名 幹事四名 顧問若干名  
各部會  
戸主部會 戸主部會長一名 副部會長二名 幹事若干名  
青年部會 青年部會長一名 副部會長一名 幹事若干名  
評議員若干名  
婦人部會 婦人部會長一名 副部會長二名 幹事若干名

第一條 本會ハ掛合村報徳會戸主部會ト稱シ事務所ヲ掛合村役場内ニ設置シ各區ニ支會ヲ置ク

第二條 本會ハ掛合村報徳會ノ指揮監督ヲ承ケ村内各支會ヲ督勵シ教育勸導成申詔書ノ御趣旨ヲ奉體シ戸主相互ノ親睦公同心ノ振作其他公民タルノ權利義務ヲ守リ各自ノ福利増進ヲ圖リ自治ノ發達ヲ期スルヲ以テ目的トス

第三條 本會ハ村内戸主全員ヲ以テ組織ス

第四條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク  
會長一名 副會長二名 幹事若干名

第五條 會長副會長ハ本村報徳會ノ會長副會長ヲ以テ之ニ充ツ幹事ハ會長之ヲ囑託ス

第六條 會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表シ副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス

第七條 會長副會長ノ任期ハ其本職ノ任期ニ從フ幹事ノ任期ハ會計年度ニ從ヒ二ケ年トス但再撰ヲ妨グス補缺ノ爲メ就職シタル者ノ任期ハ總テ前任者ノ殘任期間トス

第八條 本會役員ハ總テ無給トス但會務ノ爲メ必要ナル實費又ハ慰勞金ヲ贈與スルコトアルベシ

總裁ハ會員ノ推薦トシ其他ノ役員ハ總裁之ヲ任免ス

第五條 總裁ハ會務ヲ統監シ會長ハ會ヲ總理シ副會長ハ會長ヲ補佐シ又ハ代理シ幹事ハ庶務會計ヲ分掌ス

第六條 本會及部會ノ經費ハ特志者ノ寄附金其他ノ收入ヲ以テ之ニ充ツ其收支ハ曆年ニ依ル

第七條 本條ニ規定セサル事項ニ關シテハ役員會ニ諮問シ總裁之ヲ定ム

第八條 支會ニ關スル規定ハ別ニ之ヲ定ム

第九條 會議ヲ分チ總會役員會ノ二種トシ總會及役員會ハ必要ニ應シ會長之ヲ召集ス

第十條 總會ハ報總會役員及各支會全員ヲ以テ組織シ左ノ事項ヲ執行ス

一、諸報告 二、講話講習會 三、其他必要ナル事項

第十一條 役員會ハ報總會役員及本部會ノ役員全体ヲ以テ組織シ左ノ事項ヲ議決ス

一、收支豫算ノ議決及決算認定ニ關スル件

二、會則更正ニ關スル件

三、功績ノ審査及表彰ニ關スル件

四、其他必要ノ事項

第十二條 本會ハ第二條ノ目的ヲ達センガ爲メ左記事項ノ遂行ヲ期スルモノトス

一、村是ニ基キ指定セラレタル事業ニ就キ各支會ヲ督勵シ會員ノ實行ニ努ムルコト

二、青年女子ヲシテ義務的ニ補習教育並講習等ヲ受シムルコト

三、各自分度ヲ守リ華奢ノ弊風ヲ打破シ勤儉貯蓄ノ美風養成ニ努ムルコト

四、納稅就學種痘等ノ義務ヲ怠ラサルコト

第四條 本會員ヲ分テ左ノ四種トス

正會員 年滿十五歲以上滿三十歲マテノモノ

特別會員 年滿三十歲以上ニシテ繼續會員希望ノモノ

名譽會員 學識徳望アル人及ヒ本會ニ對シ功勞アル人ニシテ會長ノ申請ニ依リ報總會ヨリ推薦セラレタルモノ

第五條 本會ニ左ノ會員ヲ置ク

會長 一名 副會長 一名

幹事 若干名 評議員 若干名

第六條 本會ノ役員ハ會員中ヨリ掛合村報總會之ヲ推薦ス

第七條 會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表シ副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス

幹事ハ會長ノ命ヲ承ケ會務ヲ掌ル

評議員ハ報總會又ハ本會長ノ諮問ニ應シ或ハ本會必要ノ事項ヲ議決ス

第八條 役員ノ任期ハ會計年度ニ從ヒ二ケ年トス但再推薦ヲ妨ケズ

補缺ノ爲メ推薦セラレタル者ノ任期ハ繼テ前者ノ殘任期間トス

第九條 本會役員ハ總テ無給トス但會務ノ爲メ必要シタル實費又ハ慰勞金ヲ贈與スルコトアルヘシ

第十條 會議ヲ分チ總會役員會ノ二種トシ總會ハ毎年一回トシ

臨時總會及役員會ハ必要ニ應シ會長之ヲ召集ス

第十一條 總會ハ本村報總會ノ役員及各支會青年總員ヲ以テ組織シ左ノ事項ヲ執行ス

一報告 二演說討論 三講話講習會 四其他必要ナル事項

第十二條 役員會ハ本村報總會總理會長副會長及本會役員並支會長全部ヲ以テ組織シ左ノ事項ヲ議決ス

一收支豫算ノ議決及ヒ決算認定ニ關スル件

二會則ノ更正ニ關スル件

三功績ノ審査及ヒ表彰ニ關スル件

四其他必要ナル事項

第十三條 本會ハ第二條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事項ノ遂行ヲ期スルモノトス

一青年ノ心得誓書ヲ遵守スルコト

二教育補習ヲ實行スルコト

三品評會講演會講習會等ヲ開設スルコト

四公共的施設ニ關シ助力スルコト

五勤儉貯蓄ヲ行ヒ以テ村ノ實力ヲ圖ルコト

六模範試作地又ハ競作地ヲ設クルコト

七總テノ時間ヲ勵行スルコト

八村ノ矯風事項ヲ遵守スルコト

九其他必要ナル事項

第十四條 會議ノ議長ハ本會長ヲ以テ之ニ充ツ

會長事故アルトキハ副會長其代理ス

第十五條 本會ニ各青年支會ノ會員名簿ヲ備置會長之ヲ整理ス

第十六條 本會ノ經費ハ會員ノ負擔トス但補助金寄附金其他ノ

收入金アルトキハ會費ヲ徵收セサルヲアルベシ

第十七條 本會ヨリ官公署ニ差出書面ハ總テ報德會ヲ經由スル

モノトス

掛合村報德會婦人部會々則

第一條 本會ハ掛合村報德會婦人部會ト稱シ事務所ヲ掛合村尋

常高等小學校内ニ設置シ各區ニ支會ヲ置ク

第二條 本會ハ掛合村報德會ノ指揮監督ヲ承ケ各區婦人支會ト

氣脈ヲ通シ教育勸語申詔書ノ御旨趣ヲ奉體シ婦德涵養賢母

良妻タルノ美風ヲ指導獎勵スルヲ以テ目的トス

第三條 本會ハ村内居住ノ婦人ニシテ年滿十五歲以上滿六十

歲マテノモノヲ以テ組織ス但名譽、特別、會員ハ此限りニア

ラズ

第四條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長 一名 副會長 二名 幹事 若干名

第五條 本會ノ役員ハ掛合村報德會ノ推薦ヲ請フモノトス

第六條 會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表シ副會長ハ會長ヲ補佐

シ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス

五九

幹事ハ會長ノ命ヲ承ケ會務ヲ掌ル

第七條 役員ノ任期ハ會計年度ニ從ヒ二ケ年トス但再薦ヲ妨ケ

ズ

補缺ノタメ就職シタルモノノ任期ハ總テ前任者ノ殘任期間ト

ス

第八條 本會役員ハ總テ無給トス但會務ノタメニ要シタル實費

又ハ慰勞金ヲ贈與スルヲアルベシ

第九條 會議ヲ分テ總會役員會ノ二種トシ總會ハ每年春秋二回

トシ役員會ハ必要ニ應シ會長之ヲ召集ス

第十條 總會ハ報德會ノ役員及各支會員全員ヲ以テ組織シ左ノ

事項ヲ執行ス

一 諸報告 二 講演、講習

第十一條 役員會ハ報德會總裁、會長、副會長、及本會役員全

員ヲ以テ組織シ左ノ事項ヲ議決ス

一 豫算ノ議決及決算認定ニ關スル件

二 會則ノ更正ニ關スル件

三 功績ノ審査及表彰ニ關スル件

四 其他必要ノ事件

第十二條 本會ハ第二條ノ目的ヲ達センガタメ左記事項ノ遂行

ヲ期スルモノトス

一 女子補習教育ヲ受ケシムルヲ

正副會長共ニ事故アルトキハ顧問ノ内其代理ス

第十四條 本會ニ各支會員名簿ヲ備置會長之ヲ整理ス

第十五條 本會ノ經費ハ會員ノ負擔トス但補助金寄附金其他ノ

收入金アルトキハ會費ヲ徵收セサルヲアルベシ

第十六條 本會ヨリ官公署ニ差出書面ハ總テ報德會ヲ經由スル

モノトス

◎ 五 章 衛 生

一、傳染病隔離病舎

現在病舎ハ建築古キヲ以テ完全トハ認メザルモ今ヤ經費多端新ニ經營ノ餘裕ナシ然ルニ永久ニ曾木茸

ハ將來經濟上不利利益ナルニ依リ大正二十一年度ヨリ全二十三年度マテ三ケ年繼續事業トシテ瓦葺ニ變

更スルモノトス

金百拾圓 大正二十一年度支出

金百拾圓 大正二十二年支出

金百圓 大正二十三年支出

計金參百貳拾圓

備考木工費二分ノ一ハ縣費補助アル豫定ナリ

二、火葬場ノ設置

從來火葬場ノ設備ハ一ヶ所アリ將來新ニ増設ノ必要アリ時機ヲ見計ヒ改設ノ必要ヲ認ム

三、村 醫

- 四、時機を見計ラヒ設置スルモノトス
- 四、産婆看護婦  
講習生多数アリ充用シ得ルヲ以テ暫ク養成ノ必要ナシ必要ト認ムル場合ニ於テ奨励ニ努力スルモノトス
- 五、血清及豫防液  
開業醫ニ於テ設備アリ敢テ柱ニ設備ノ必要ヲ認メス
- 六、衛生組合  
既設ノ組合規約ヲ履行スル事  
毎年夏季一回ハ講習會ヲ開設シ衛生思想ノ發達ヲ期スル事
- 七、共同廊園場  
設置ノ必要ヲ認メス
- 八、共同塵捨場  
既設ノモノ四ヶ所アリ別ニ増設ノ必要ヲ認メズ  
塵捨場以外ノ場所ニハ一切棄却セシメサル事ニ努ムルモノトス
- 九、共同墓地  
時機を見計ヒ設置ノ必要ヲ認ム

第六章 公園勝區遺跡

一、公園逍遙園運動場

公園一ヶ所設置ノ必要ヲ認メ土地撰定中ナルヲ以テ漸次決定ニ努メントス

二、勝區

宇出羽ノ瀧ヲ經宮勝區ニ編入セシムルモノトス

三、遺跡

日倉山城跡比丘尼原城跡陣ヶ字根山椒魚谷（山椒魚棲息）殉難七士ノ墓以上保存ニ努ムルコト

第七章 警備

一、火防

1、大正三年度ニ於テ唧筒一臺ヲ購入シ本年度中ニハ消防組ヲ組織シ設備ノ全部ハ大正四年度ヲ以テ完成スルモノトス其支出像定高左ノ如シ

金百七拾八圓	内	拾八圓	經常費	大正四年度支出
金五拾圓		百六拾圓	臨時費	大正四年度支出

2、火防ノ際先驅ニ從事シ其効果著シキモノ及其他従事者中行動著シキモノニハ相當手當ヲ給ス

3、傷痍疾病者治療料及死亡者ノ埋葬費ハ相當給與ノヲ

以上支給方法ハ大正三年度ニ於テ之ヲ設クルモノトス

4、村民各自ノ警備ニ就テハ從來ノ慣行ニ基キ努力セシムルモノトス

5、タヤハ住民ニシテ民産階級二位以上ノモノハ「ズツク製」一個ツ、其他ハ適當ノモノヲ一ヶツ、チ

大正三年度内ニ設備セシムルモノトス

- 6、火防貯水池ハ掛合町ニ四ヶ所其他ニハ必要ノ場所ニ之レヲ設ケジムルモノトス
- 二、水防  
消防組ヲ以テ兼務セシム

第八章 奨 儉

- 一、村民經濟改良必成ノ方法  
掛合村住民ハ自今勤儉貯蓄ノ美風ヲ守リ相互ノ幸福ヲ進ムルノ目的ヲ以テ左記五項ノ實踐躬行ヲ期セ  
ソトス
  - 1、本村内ノ土地ニシテ現ニ村外人ノ所有ニ係ルモノハ地主ニ交渉ノ上漸次村内人ニ買受クルノ手續ヲ講スル事
  - 2、本村内ニ所有ノ土地ハ賣却ノ止ヲ得サル場合ニ於テハ村内人へ賣却ニ努ムル事
  - 3、本村住民ハ大正十三年度マテハ最下級ノモノト雖モ幾分ノ土地ヲ買得シ地租ヲ納メ以テ村ノ公民權ヲ得ル資格造成ニ努ムル事
  - 4、本村住民ハ大正四十二年度ニハ毎戸ニ地租參圓以上ヲ納ムル資産造成ニ努ムル事
  - 5、本村住民ハ大正四十六年度ニハ毎戸ニ地租又ハ直接國稅拾圓以上納ムル資産造成ニ努カスル事
- 二、銀行  
貯蓄銀行普通銀行既設ノモノアルヲ以テ設置ノ要ナシ
- 三、産業組合  
I、信用組合設置ノ必要ヲ認ムルモ未タ其機運ニ至ラズ大正十五年マデノ内ニ於テ時機ヲ見テ實行ニ務

ムルモノトス

- 2、購買組合現時必要ヲ認メズ時機ヲ見テ實行ニ務ムルモノトス
- 3、製紙原料販賣組合本村三極生産者ニ於テ必要ヲ認ムルヲ以テ本年二月已ニ組織ナレルヲ以テ爾後之カ獎勵ニ努力スルモノトス
- 4、蚕業組合必要ヲ認ムルヲ以テ大正四年度ニ於テ設置スルモノトス
- 四、勤儉貯蓄
  - 1、普通貯金  
郵便貯金並ニ銀行貯金ハ漸次其額ト人員トハ増加シツクアルモ尙一層獎勵ニ努力スルモノトス
  - 2、規約貯金  
村内各區ニ於テ現行ノモノ確實ト認ムルニツキ尙一層獎勵ニ努力シ現在ノ實行程度ヲ増進セシムルモノトス
  - 3、共同貯金
  - 4、据置貯金
- 五、個人ノ收支豫算決算  
第三四項ハ稀レニ實行者アルヲ以テ今後益獎勵スルモノトス  
個人ニ於テ收支ノ豫算決算ヲ設クルノ必要ハ近年唱導シツク、アルモ未タ設備ノアルヲ認メタルモノ稀ナリ之レカ獎勵方法トシテハ戸主會青年會婦人會ニ於テ唱導シ漸次一般ニ實行セシムルモノトス

第九章 救 助

一、貧民救助

- 1、毎年度豫算ヲ設ケ規程ノ範圍内ニ於テ必要ニ應ジ之レヲ給與スルモノトス
- 2、村ノ有志者ヨリ年賀慶事ノトキニハ金又ハ米ヲ贈與スル事アリ爾后モ亦此ノ舉ニ出ツヘキ事アルヘシト豫定ス

二、罹災者救助

毎年度豫算ヲ設ケ事實アル場合ハ規程ノ範圍内ニ於テ之ヲ給與スルモノトス

第十章 社 寺

一、神 社

郷社狹長神社及無格社稻荷神社ノ二社共維持方法確立シ既ニ維持基金充實セルヲ以テ將來維持經營ニ努力スル事

狹長神社ハ大正三年度ニ於テ遷座式ヲ舉行シ其際本社御拜ノ修復中殿、拜殿及隨神門ヲ新營シテ大正三年度ニハ指定ノ神社タルノ資格ヲ有スル迄ニ完成セシムル様努力スル事

神社ニ於テハ毎年一回以上神道講演會ヲ開催シ氏子ノ精神修養ニ資スル事

二、寺 院

寺院ニ於テハ寺格昇進ノ聲盛ナルト共ニ夫々其伍班ヲ進メラレタルハ喜ブベキモ其寺院ノ管理ニ至リテハ寒心ニ堪ヘザルモノアリ信徒門徒ヲ督シテ相當ノ維持方法ヲ講ズルト共ニ基本金ヲ造成シ寺有ト私有ノ區別ヲ明瞭ナラシムルモノトス

寺院毎ニ又ハ合同ヲ以テ毎年二回以上講演會ヲ開カシメ信徒門徒ノ精神修養ヲ講スルコト

佛敎會ノ隆盛ニ努力スルコト  
什物ノ保存ニ努ムルコト

第十一章 雜 件

一、村公務員心得

- 1、應接ハ叮嚀親切ナルベシ
- 2、職務ハ忠實勤勉ナレベシ
- 3、金錢ノ出納ハ嚴正ナルベシ

二、掛合村徽章制定

掛合村徽章

第一條 掛合村徽章左ノ通制定スルモノトス

說 明

ハ乘ニシテ村名ノ掛ニ通フ

+

ハ加ニシテ合ニ意味シ合シテ掛合ノ村名ヲ表ハス而シテ加乘共ニ物ノ増加ヲ意味シ本村將來愈々積極的ニ發展センコトヲ祈リシモノナリ



第二條 本村徽章ハ村又ハ團體等ニ於テ使用ス

第三條 徽章ハ徽章旗ヲ以テ村又ハ團體ヲ代表スル公會若クハ送迎等ノ際ニモ之ヲ使用ス  
村民及團體ノ待遇

1、功勞者篤行者ノ表彰

- イ、孝子頑孫節婦義僕等ニシテ德行卓絶ナルモノ
  - ロ、箇人又ハ團體ニシテ實業、教育、衛生、慈善、其他公益ノ事業ニ盡瘁シ成績良好ナルモノ
  - ハ、地方改良事業ニシテ其成績良好ナルモノ
  - ニ、五人以上規約又ハ組合ニシテ貯蓄シ五ヶ年以上繼續實行其成績良好ナルモノ
  - ホ、前項各項以外ノモノニシテ地方ノ模範トナルベキ成績アリト認ムルモノ
- 表彰ハ其業績又ハ功勞ヲ列叙シタル表彰狀及金員ヲ授與ス但成績ニ依リ表彰狀ノミ授與スル事アルベシ表彰ハ村會議員學校教員諸團體役員各種有位帶動者等ノ臨席ヲ求メ且表彰者ノ主ナル關係者親族立會ノ上之ヲ行フ但同時ニ村内ニ公示スルモノトス

2、高齢者ノ待遇

- 年齢七十歳以上ノモノニ對シテ村又ハ團體ニ於テ時々敬老會ヲ開キ自治開發ニ關スル事情ヲ談話シ耳目ノ歡ヲ催ス等ノ慰安ヲ與ヘ以テ敬意ヲ表シ或ハ物品ヲ寄贈スル事有ルベシ
  - 公席ニ於テハ高齢者トシテ待遇シ特別席ヲ與フルモノトス
  - 歳齡八十八歳ニ當ルモノニハ米壽祝賀ノタメ村ヨリ金品ヲ贈與ス
  - 金員贈與ノ際村長ハ本人ノ宅ニ就テ賀狀ヲ呈シ祝意ヲ表スルモノトス
  - 3、初子出産年賀等ノ慶事ニ際シ學校基金ニ金員ヲ寄附スルモノニ對シテハ賀狀ヲ贈呈ス
  - 4、有位帶動者ノ待遇
- 諸集會ノ際ハ上位ニ席ヲ設ケ敬意ヲ表スルモノトス

5、死亡セシ偉人賢人

功勞ヲ調査シ之レガ適當ノ方法ヲ講シ功勞ヲ永遠ニ傳フルモノトス

四、小作人ノ保護

和協ハ生産ナル言アル如ク地主ト小作人トハ親子ノ如ク和協セサレハ農業ノ發達ヲ望ム可カラズ本村幸ニ兩者間和協シツ、アリト雖モ從來ノ狀況ニヨリ將來ヲ推思スルニ聊カ寒心スヘキモノナキニシモアテズ依テ大正四年度ニ於テ地主會ナルモノヲ組織シ和協ノ要素ニ就キ大ニ研究ヲ重テントス

五、村歴史地理編纂

大正元年十一月五日村歴史地理編纂委員及評議員ヲ設置シ爾來其編纂ニ付キ計畫スル處アルモ材料散慢之レカ蒐集ニ苦シム故ニ仮令多額ノ費用ヲ投ズルモ尙目的ヲ達スル能ハザルヲ憾ムモ順次之レガ編纂ヲ試ミ大正六年度マデニハ完成ニ努メントス其經費凡五拾圓

六、飛地交換

漸次之レカ勸誘ヲ努ムベシ

七、村民慰安

- 1、三大節狹長神社大祭日ヲ以テ村民ノ慰安日ト定メ角力擊劍講談等ヲ神社ニ於テ舉行シ一日ノ慰安ヲ與ヘ傍ラ敬神思想ヲ養生セントス
- 2、年中休日ニハ圖書館ニ書籍雜誌等ヲ設備シ一般ノ閱覽ニ供スルモノトス
- 3、村民公會堂ヲ大正四十二年度マテニ設置シ時々芝居活動寫真等ヲ觀覽セシムルコト
- 八、弊風矯正
- 1、宴席ニ於テ交盃廢止ヲ勵行スルコト

2、聯合村務事項

- イ、新年式ヲ始メ大祭日祝日ヲ重メズルノ風ヲ助長シ且國旗ノ掲揚ヲ怠ラサルコト
- ロ、新年式ハ一月三日ヲ以テ本村ノ年始日ト定メ彌生間ニ於テ神職寺院其他年始ク禮ヲ了スルコト
- ハ、三大節ニハ必ず休業スル事
- 但二月三日ハ年始回禮ヲ畧スルタメ一定ノ費用ヲ積算シ加盟者ノ同意ヲ求ムル事
- 此場合ニ於ケル勢ヲ取ルハ村役場員トス
- 村又ハ部落ニ於テ村民集會ヲ開クカ如キ慣例アルモノハ可成此住辰ヲトシ行フ事
- 皇室ク萬歳ヲ祝スルハ同時ニ村民ノ親睦ヲ温ムル事
- 年中村内休業日ヲ一定シ蓋ニ舊五節句又ハ臨時休業ヲナササル事
- 一月一日(酒方拜) 二月 三日(元始祭) 五月(新年宴會)
- 二月 節分、十一月紀元節
- 三月 春季皇靈祭、社日
- 四月 聖祖神武天皇祭
- 六月 二十五日地久節
- 七月 半夏生、三十日明治天皇祭
- 八月 十四、五、六日孟蘭盆會、三十一日天長節
- 九月 秋季皇靈祭
- 十月 廿七日神嘗祭、三十一日天長節祝日
- 十一月 二十三日新嘗祭、産土神社例祭一日及境内末社祭一日
- ホ、掛賣代金其他一般金銭取引時期ヲ毎年三月六月九月十二月ノ四期トシ各其月末ニ受授スルモ

ノトス

- ハ、下男下女ノ出代リ
- 二月一日 八月一日
- ト、諸集會ノ開會時限ヲ嚴重ニシ參集時限ヲ誤ラサル事
- 但豫テ申合規約ニ過怠金徴收觸出ノ節ハ區長ニ於テ引絡メ出場スル様ナスコト此場合ニ於ケル出頭時限ニ遅ル、モノハ過怠金ヲ徴收スル事
- チ、婚禮年賀及葬儀其他吉凶ノ式事並ニ病氣見舞ハ可成質素ニ行フ事
- 婚禮、年賀、出産、紐落シ等ノ祝賀ハ親戚及格別ノ先キ程往來シ猶物品ノ贈受ハ可成質素ヲ守ル事
- 儀式ハ華美ナラサルヲ集會者ハ靜肅ヲ守リ縁者ハ勿論其他一般ノ立會者モ身分ニ應シ可成質素ヲ旨トスルコト





參

考

表

掛合村基本財産増殖年度別豫定一覽表

大正	村基	本財	産	計	學林基本財産		罹災救助資金
					五分利	五分利	
三年	計 五、〇〇六	計 六、三四四	計 一、三三〇	計 二、二〇〇	計 二、二〇〇	計 三、八二五	計 三、八二五
現在高	四、四〇〇	現在高	六、一〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
積立毎	年 三六六	年 二四四	年 一〇〇	年 一〇〇	年 一〇〇	年 二五〇	年 二五〇
四	五、六六一	六、五九七	二、一〇〇	二、四一五	二、四一五	七九五	七九五
五	六、三四九	六、八六一	五、八〇〇	一、三、二六五	二、六四〇	一、二二八	一、二二八
六	七、〇七二	七、一三六	八、四〇〇	一、四、二九三	二、八七七	一、六八四	一、六八四
七	七、八三二	七、四二二	一、五七二	一、五四〇	三、二二六	二、二六三	二、二六三
八	八、六二八	七、七一八	一、七六一	一、六五三	三、三八八	二、〇八一	二、〇八一
九	九、四六五	八、〇二七	一、八五〇	一、七六七	三、六六二	三、六七四	三、六七四
一〇	一〇、三四三	八、三四八	一、九四一	一、八八六	三、九五〇	三、九六三	三、九六三
一一	一一、二六六	八、六八二	二、〇二六	二、〇二六	四、二五三	四、二六六	四、二六六
一二	一二、三三五	九、〇二九	二、一七四	二、二六三	四、五七〇	四、五八四	四、五八四
計	五、〇〇六	六、三四四	一、三三〇	二、二〇〇	二、二〇〇	三、八二五	三、八二五

一三	一三二五二	〇六二	九三九	六六四	四八五	八〇九	二二二二六	五三五	四九〇四	二四二	一四	一四三一九	九六五	九七六六	二九〇	六〇八	七九九	二四六九五	〇五四	五一九九	四五四	一五	一五四四一	二六三	一〇一五六	九四一	七二一	一三八	三三四	五五二	九二六	一六	〇七九	五五二八	〇〇五	一六	一六六一八	六二六	一〇五六三	二一八	七八八	六九四	二七九七〇	五三八	五九九二	五二二	二九	四八二	五九二	四〇四	五九二三	〇〇四	一七	一七八五四	八五七	一〇九八五	七四六	八五九	六二八	二九七〇〇	二三一	六二九二	一四八	四三	五五六	六三三五	七〇四	一七	一六六一八	六二六	一〇五六三	二一八	七八八	六九四	二七九七〇	五三八	五九九二	五二二	二九	四八二	五九二	四〇四	五九二三	〇〇四	一八	一九一五二	八九九	一一四二五	一七五	一〇一六	〇〇九	三二五九四	〇八三	六七二	七五五	五九	三三三	六七七〇	〇八八	一九	二〇五一五	八四三	一一八八三	一八二	一二〇八	五五九	三五六〇六	五八四	七三	三四二	七三	八四九	七二五	一九一	二〇	二二、九四六	九三五	一二三三七	四六九	一二七七	三八六	三五五八二	七九〇	七六一四	九五九	九〇	一四一	九〇	一四一	七二五	七二五	一九一	二一	二三四四九	五八一	一二八五一	七六七	一八一三	七五五	三八一五	一〇三	八一〇	七〇二	一〇七	二四八	二二〇	二二	二五〇二七	三六〇	一三三六五	八三七	二二六四	三四二	四〇七五二	五三九	八六〇	七三七	一二五	二二〇	八七三五	九四七	二二	二六六八四	〇二八	一三九〇〇	四七〇	二九八六	五五九	四三五七	〇五七	九一四六	二七三	一四四	〇七〇	二二	二八四二三	五二九	一四四五六	四八八	三七一一	二八六	四六五九	三〇三	九七〇九	五八六	一五一	二七三	九八五九	八五九	二四	三〇、二五〇	〇〇五	一五〇三四	七四七	四三三二	五五〇	四九六三七	三〇二	一〇二九九	〇一五	一五八	八三六	一〇四五七	八五一	二五	三二一六七	八〇五	一五六六六	一三六	四七〇四	五七七	五二五〇八	五一八	一〇九一八	九六五	一九五	一二七	一一、一四	〇九二	二六
----	-------	-----	-----	-----	-----	-----	-------	-----	------	-----	----	-------	-----	------	-----	-----	-----	-------	-----	------	-----	----	-------	-----	-------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	------	-----	----	-------	-----	-------	-----	-----	-----	-------	-----	------	-----	----	-----	-----	-----	------	-----	----	-------	-----	-------	-----	-----	-----	-------	-----	------	-----	----	-----	------	-----	----	-------	-----	-------	-----	-----	-----	-------	-----	------	-----	----	-----	-----	-----	------	-----	----	-------	-----	-------	-----	------	-----	-------	-----	-----	-----	----	-----	------	-----	----	-------	-----	-------	-----	------	-----	-------	-----	----	-----	----	-----	-----	-----	----	--------	-----	-------	-----	------	-----	-------	-----	------	-----	----	-----	----	-----	-----	-----	-----	----	-------	-----	-------	-----	------	-----	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-------	-----	-------	-----	------	-----	-------	-----	-----	-----	-----	-----	------	-----	----	-------	-----	-------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	-----	-----	----	-------	-----	-------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	-----	-----	------	-----	----	--------	-----	-------	-----	------	-----	-------	-----	-------	-----	-----	-----	-------	-----	----	-------	-----	-------	-----	------	-----	-------	-----	-------	-----	-----	-----	-------	-----	----

二七	三四八一	四九五	一六二六	五八一	五〇七四	二〇五	五五六一七	二八一	一一五六九	九一三	二二三	二二三	一一、八〇三	一四六	二八	三六二九五	八六九	一六九二二	〇四四	五七六六	八一五	一一二五三	四〇八	二七三	二四四	一一五二六	二九	三八五一五	九六二	一七五八八	五二五	六四九四	〇五五	六〇五九八	五四二	一〇五〇	二五六	一四〇二	三三四	三〇	四〇八四七	〇六〇	一八二九三	〇六六	六八三七	六五七	六五九七六	七八三	一一三一	一一八	一四八五五	七四九	三一	四三三九四	七二三	一九〇三三	七四八	八三五八	六八九	七〇六七七	一五〇	一四五一	八六二	一一二六	〇二三	一五、七〇三	八八五	三二	四八八六三	二八五	二〇五七六	〇八四	一一六七八	三八六	八〇八一七	七五五	一六二八	九八七	一三九八	七八二	一七六七	七六九	三三	四八八六三	二八五	二〇五七六	〇八四	一一六七八	三八六	八〇八一七	七五五	一六二八	九八七	一三九八	七八二	一七六七	七六九	三四	五二九九六	七四九	二二三九九	一一七	一三六九七	六五五	八六四九三	五三二	一七二三四	九三六	一四六八	七二二	一八六〇三	六五七	三五	五四三七一	八八六	二二二五五	一九五一九	六八七	九二二四六	六六五	一八〇九六	六八二	一五四二	一五七	一九六三	八三九	三六	五七四九五	七八〇	二二三四五	二九五	一六六二九	五七一	九七七〇	六四六	一九一〇六	五一六	二三五四	二六四	二二四六〇	七八〇	三七	六〇七七五	八六九	二四〇七一	一〇六	一七七九四	九四九	一〇二、六四一	九二四	六四六	一九二四	八四一	三二〇六	九七七	五〇、三七三	八一八	三八	六四二一九	九六二	二五〇三三	二〇四六九	六九六	一〇九七三	六〇八	二二、二八〇	八四一	一八三	四一〇三	三二五	二五、三八二	五〇八	三九	六七八三六	二六〇	二六〇三五	三〇八	二二二七八	一八〇	一一七一四九	七四八	二二四四九	一九二	五〇四二	四四一	二七、四九一	六三三	四〇	七二六三三	三七三	二七〇七七	七二〇	二五一七七	〇八九	一二三八七	一八一	二二六七六	六五二	六〇二九	五六三	二九、七〇六	二一四
----	------	-----	------	-----	------	-----	-------	-----	-------	-----	-----	-----	--------	-----	----	-------	-----	-------	-----	------	-----	-------	-----	-----	-----	-------	----	-------	-----	-------	-----	------	-----	-------	-----	------	-----	------	-----	----	-------	-----	-------	-----	------	-----	-------	-----	------	-----	-------	-----	----	-------	-----	-------	-----	------	-----	-------	-----	------	-----	------	-----	--------	-----	----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	------	-----	-------	-----	----	-------	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-------	-----	------	-----	------	-----	----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	------	-----	-------	-----	------	-----	-------	-----	----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	---------	-----	-----	------	-----	------	-----	--------	-----	----	-------	-----	-------	-------	-----	-------	-----	--------	-----	-----	------	-----	--------	-----	----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	--------	-----	-------	-----	------	-----	--------	-----	----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	------	-----	--------	-----

四一	七五〇〇	三四一	二八一五九	七八八	二七二七〇	九四三	一三〇九一	〇七二	二四九六五	四八三	七〇六六	〇四一	三二〇三一	五二四
四二	七九〇六	六五八	二九二八六	一七九	二九二六四	四九〇	一三八三五七	三七七	二六三一八	七五七	八一五四	三四三	三四四七三	一〇〇
四三	八四二〇二	二九〇	三〇四五七	六二六	三一四六二	七二四	一四六一二	六三〇	二七七三九	六九四	九二九七	〇六〇	三七〇三六	七五四
四四	八八一七	七〇四	三一六七五	九三一	三三七七〇	八四九	一五四二六四	四八四	二九三二二	六七八	一三九六二	九一三	四三一九三	五九一
四五	九三六六三	八八九	三二九四二	九六八	三六一九四	三九一	一六二八〇一	二四八	三〇七九八	二六一	一四六六〇	〇〇八	四五四五八	二六九
四六	九八七五三	三八三	三四二六〇	六八六	四三二二八	四一〇	一七六三三二	四七九	三〇四四三	一七四	一五三九三	〇〇八	四九八三六	一八二
四七	一〇四〇九五	三〇二	三五六三三	一一三	五一一四四	八八〇	一九〇八七一	二九五	三四一七〇	三三二	一六六二	六五八	五〇三三二	九九
四八	一〇九七〇五	三六七	三七〇五六	三五七	五九一六〇	〇二四	二〇五九二二	七四八	三五九八三	八四八	一六九七〇	七九〇	五二九五四	六三八
四九	一一五五九五	九三五	三八五三八	六一一	六八二六二	五七九	二二三三九六	一一二	三七八八八	〇四〇	一七八一九	三二九	五五七〇七	三六九
五〇	一二二七八	〇三一	四〇〇八〇	一五五	七六六六七	四〇三	二三八五二八	五八九	三九八八七	四四二	一八七一〇	二九五	五八五九七	七三七
五一	一二八二七五	三八二	四一六八三	三六一	八三四四〇	七七三	二五三三九九	五二六	四一九八六	八一四	二三八四五	八〇九	六五八三二	六二二
五二	一三五〇九四	四五一	四三三三〇	六九五	九〇五五二	八一	二六八九九七	九五七	四四一九一	一五四	二九二三八	〇九九	七三四二九	二五三
五三	一四二三四四	四七三	四五〇八四	七二二	一〇三三八〇	四五一	二九〇八一九	六四六	四六五〇五	七一	三四九〇〇	〇〇三	八一四〇五	七一四
五四	一四九七七三	四九六	四六八八八	一一〇	一一七〇五四	四七三	三一三七一五	〇七九	四八九三五	九九六	四〇八四五	〇〇三	八九七九〇	九九九

掛合村基本財産收入金將來豫定一覽表

收入年	收入		種		類		學林收入	罹災救助資金						
	縣部分	縣農會全上	全	種	村	造林								
五五	一五七六六六	四二〇	四八七六三	六三四二七	一〇七	一九六	三三三五七	二五〇	五一四七	七九五	四七〇八七	二五三	九八五七五	〇四八
五六	一六五九五五	〇四一	五〇七一四	一七九一三	七六二	五五五	三五四三二	七七五	五四一六七	一八四	五三六四二	六一五	一〇七八〇八	七九九
五七	一七四六五八	〇九三	五二七四三	七四六一八	七四五	六八二	三七六四六	五二二	五六九八〇	五四三	六〇五三三	六九五	一一七五〇四	二三八
五八	一八三、七九六	二九七	五四八五二	四五一六〇	三八二	九六六	三九〇三一	七一八	五九三三四	五七〇	六七七四九	八七九	一二七六八四	四四九
五九	一九三三九	四一一	五七〇四六	五五三二七	六二二	一一四	四二〇四〇	〇五八	六三〇三六	二九八	二九八七一	三七二	一三四一七三	六七〇
六〇	二〇三四六六	二八一	五九三三八	四五一八五	四三二	二二九	四四八二二	九一五	六六九三三	一一二	七四六九四	二四〇	一四〇九九七	三五二
六一	二二四〇四四	八九五	六二二九四	八三五一九	八九〇	八二九	四七五二四	五五九	六九七二	七六七	七八四二八	九五二	一四八一四一	七一九
六二	二二五一五三	四三九	六四七八六	六二八二二	〇四九	〇二〇	五〇二九八	〇八七	七三、三〇三	四〇五	八二三五〇	三九九	一五五六五三	八〇四
大正四年							二六、〇〇〇						一一五、〇〇〇	
五年							一八、〇〇〇						一一五、〇〇〇	
六年							一一、七〇〇						一一五、〇〇〇	

大正七年					111,000			111,000
八年					111,100			
九年								111,000
十年								
十一年		70,240						
十二年		49,240		30,000				
十三年		55,950		30,000				
十四年		66,690		30,000				
十五年		48,650		30,000				
十六年				30,000				111,000
十七年				30,000				111,000
十八年				100,000		6,000		111,000
十九年				100,000		6,000		111,000
二十年						6,000		111,000

二十一年		442,270			6,000			111,000
二十二年		310,080		111,000	6,000			111,000
二十三年		353,260		111,000	6,000			111,000
二十四年		419,930		111,000	6,000			
二十五年		306,310		111,000	6,000			
二十六年				111,000	6,000			111,000
二十七年				111,000	6,000			111,000
二十八年				300,000	120,000			111,000
二十九年				300,000	120,000			111,000
三十年					120,000			111,000
三十一年		1,105,680			120,000			111,000
三十二年		775,100		300,000	120,000			111,000
三十三年		880,670		300,000	120,000			111,000
三十四年		1,049,830		300,000	120,000			

大正三十五年	七五、八二〇	三〇〇,〇〇〇		一五〇,〇〇〇		
三十六年		三〇〇,〇〇〇		一五〇,〇〇〇		一五〇,〇〇〇
三十七年		三〇〇,〇〇〇		一五〇,〇〇〇		一五〇,〇〇〇
三十八年		一,〇〇〇,〇〇〇		五〇〇,〇〇〇		五〇〇,〇〇〇
三十九年		一,〇〇〇,〇〇〇		五〇〇,〇〇〇		五〇〇,〇〇〇
四十年						
四十一年						
四十二年						
四十三年						
四十四年						
四十五年						
四十六年	四、二六六、六三〇					
四十七年	二、九五一、三六〇	一、五〇〇,〇〇〇				三五〇,〇〇〇
四十八年	三、三九八、三四〇	一、五〇〇,〇〇〇				

四十九年	四、〇五一、一四〇	一、五〇〇,〇〇〇				
五十年	二、九五、一四〇	一、五〇〇,〇〇〇				
五十一年		一、五〇〇,〇〇〇				
五十二年		一、五〇〇,〇〇〇				
五十三年		四、〇〇〇,〇〇〇				
五十四年		四、〇〇〇,〇〇〇				
五十五年		四、〇〇〇,〇〇〇				
五十六年		四、〇〇〇,〇〇〇				
五十七年		四、〇〇〇,〇〇〇				
五十八年		四、〇〇〇,〇〇〇				
五十九年		四、〇〇〇,〇〇〇				
六十年		四、〇〇〇,〇〇〇				
六十一年		四、〇〇〇,〇〇〇				
六十二年		四、〇〇〇,〇〇〇				

年度	金額	費目	金額	費目
計	二四、三六一、四〇〇		二四、五〇〇、〇〇〇	
內		造林收入惣計	拾四萬貳千五百圓貳拾四錢	
外		罹災救助補助金	五百圓	
		造林補助金	四百五圓	
		一町步拾五圓ツ、ノ見込		
村費中經常費收入金將來增加豫定一覽表				
增收年	增收金額	種目	摘要	
大正七年	一〇〇、〇〇〇	牧場	放牧頭數增加	
全九年	五〇〇、〇〇〇	家畜市場	出場頭數增加	
計	一六〇、〇〇〇			
村費及農會費中支出金將來增加豫定一覽表				
年度	金額	費目	金額	費目
村費				
農會費				
合計				

年度	金額	費目	金額	費目
大正四年	八〇、〇〇〇	造林費	一六〇、〇〇〇	暗渠排水補助費
	七〇、〇〇〇	學林造林費	二〇、〇〇〇	蠶種共同購入補助費
	二五〇、〇〇〇	罹災救助資金	一一〇、〇〇〇	桑園新設費補助費
	三〇、〇〇〇	警備小屋修繕費	計一九〇、〇〇〇	
	二〇、〇〇〇	家畜市場(景品)費		
	一五〇、〇〇〇	學校奉藏庫建築費		
	一〇〇、〇〇〇	學校屋根修繕費(北側)		
	三五〇、〇〇〇	全中央校舍修繕費		
	六〇、〇〇〇	學校々具代		
	五〇、〇〇〇	學校飲料水改造費		
	五〇、〇〇〇	警備費		
計	八七六、〇〇〇			
	一〇〇、〇〇〇	造林費	一六〇、〇〇〇	暗渠排水補助費
	八〇、〇〇〇	學林全上	二〇、〇〇〇	蠶種共同購入補助費

大正五年										計	大正六年									
二五〇	二〇〇	三〇〇	六〇〇	六〇〇	五〇〇	七五〇	七六〇	一三〇	九〇〇	二五〇	二〇〇	二五〇	二〇〇	九〇〇	一三〇	七五〇	一〇〇	五〇〇	五〇〇	
罹災救助資金	家畜市場(景品)費	土木費(中瀬橋芥刈杭)費	學校屋根修繕費	全上備品費(校具代)	役場事務所模様換修繕費	校舎土壁修繕費	造林費	造林全上	罹災救助資金	家畜市場(景品)費	土木費(那リ橋芥刈杭)費	教育費(校具代)	役場増築費	造林費	造林費	學校炭小屋々根葺替費	校具代	造林費	軍人遺族救護基金	家畜市場(景品代)費
二	計一九	六					一六〇	二〇	二	計一九								一六〇	二	計一七
二〇〇	二〇〇	六〇〇					〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇								〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
桑園新設補助費							暗渠排水補助費	暗渠排水補助費	暗渠排水補助費	暗渠排水補助費	桑園新設補助費							暗渠排水補助費	桑園新設補助費	暗渠排水補助費

大正七年										計	大正八年									
二五〇	二〇〇	三〇〇	六〇〇	六〇〇	五〇〇	七五〇	七六〇	一三〇	九〇〇	二五〇	二〇〇	二五〇	二〇〇	九〇〇	一三〇	七五〇	一〇〇	五〇〇	五〇〇	二〇〇
罹災救助資金	家畜市場(景品)費	土木費(中瀬橋芥刈杭)費	學校屋根修繕費	全上備品費(校具代)	役場事務所模様換修繕費	校舎土壁修繕費	造林費	造林全上	罹災救助資金	家畜市場(景品)費	土木費(那リ橋芥刈杭)費	教育費(校具代)	役場増築費	造林費	造林費	學校炭小屋々根葺替費	校具代	造林費	軍人遺族救護基金	家畜市場(景品代)費
二	計一九	六					一六〇	二〇	二	計一九								一六〇	二	計一七
二〇〇	二〇〇	六〇〇					〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇								〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
桑園新設補助費							暗渠排水補助費	暗渠排水補助費	暗渠排水補助費	暗渠排水補助費	桑園新設補助費							暗渠排水補助費	桑園新設補助費	暗渠排水補助費





計	大正十三年			計	大正十四年			計	大正十五年			計	大正十六年		
五〇五〇〇〇	一六〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇	四〇〇〇〇〇	三三〇〇〇〇	七五〇〇〇〇	一五〇〇〇〇	四〇〇〇〇〇	一三〇〇〇〇	六〇〇〇〇〇	四〇〇〇〇〇	一〇〇〇〇〇	四〇〇〇〇〇	四〇〇〇〇〇	四〇〇〇〇〇	
	造林費	學林費	軍人遺族救護基金	造林費	學林費	軍人遺族救護基金	造林費	軍人遺族救護基金	造林費	軍人遺族救護基金	造林費	軍人遺族救護基金	軍人遺族救護基金	軍人遺族救護基金	
	二〇四〇			二〇四〇			二〇四〇		二〇四〇			二〇四〇		二〇四〇	
	桑園新設補助費			桑園新設補助費			桑園新設補助費		桑園新設補助費			桑園新設補助費		桑園新設補助費	

計	大正十七年			計	大正十八年			計	大正十九年			計	大正二十年			計	大正二十一年		
八五〇〇〇	三〇〇〇〇	四〇〇〇〇	七〇〇〇〇	一五〇〇〇	四〇〇〇〇	八〇〇〇〇	一三六〇〇〇	四〇〇〇〇	四〇〇〇〇	四〇〇〇〇	一六〇〇〇	九〇〇〇	六〇〇〇	一九〇〇〇	四〇〇〇〇				
	造林費	軍人遺族救護基金	造林費	軍人遺族救護基金	校舎屋根葺替費 (南校舎北側)	軍人遺族救護基金	軍人遺族救護基金	軍人遺族救護基金	軍人遺族救護基金	軍人遺族救護基金	學校屋根(大正元年) 葺替費(葺替ノ分)	全(体操場繼建ノ分)			軍人遺族救護基金				
	二〇四〇			二〇四〇															
	桑園新設補助費			桑園新設補助費															

計	大正二十二年			計	大正二十三年			計	大正二十四年			計	大正二十五年		
110,000	150,000	400,000	1,000,000	173,800	400,000	800,000	1,000,000	330,000	400,000	270,000	990,000	2,000,000	900,000	2,000,000	4,000,000
隔離病舎瓦葺改造費	軍人遺族救護基金	校舎屋根替費(便所廊下)	隔離病舎瓦葺改造費	軍人遺族救護基金	校舎屋根替費(南側)	隔離病舎瓦葺費	軍人遺族救護基金	軍人遺族救護基金	家畜市場事務所瓦葺費	校舎屋根替費(中央ノ分)	全上物置小屋兩側				

計	大正二十六年			計	大正二十七年			計
250,000	150,000	1,000,000	1,500,000	250,800	150,000	1,000,000	1,500,000	2,500,000
	校舎屋根替費(北側兩面)	家畜市場畜舎屋根替費		家畜市場附屬建物屋根替費	全上畜舎屋根替費			

大正五年一月十四日印刷  
大正五年一月二十日發行

編纂兼  
發行者

島根縣飯石郡掛合村役場

島根縣大原郡木次町大字木次町四百四拾五番地内五

印刷者 川西房藏

島根縣大原郡木次町大字木次町貳拾貳番地

印刷所 木次活版所

327  
789

終

